

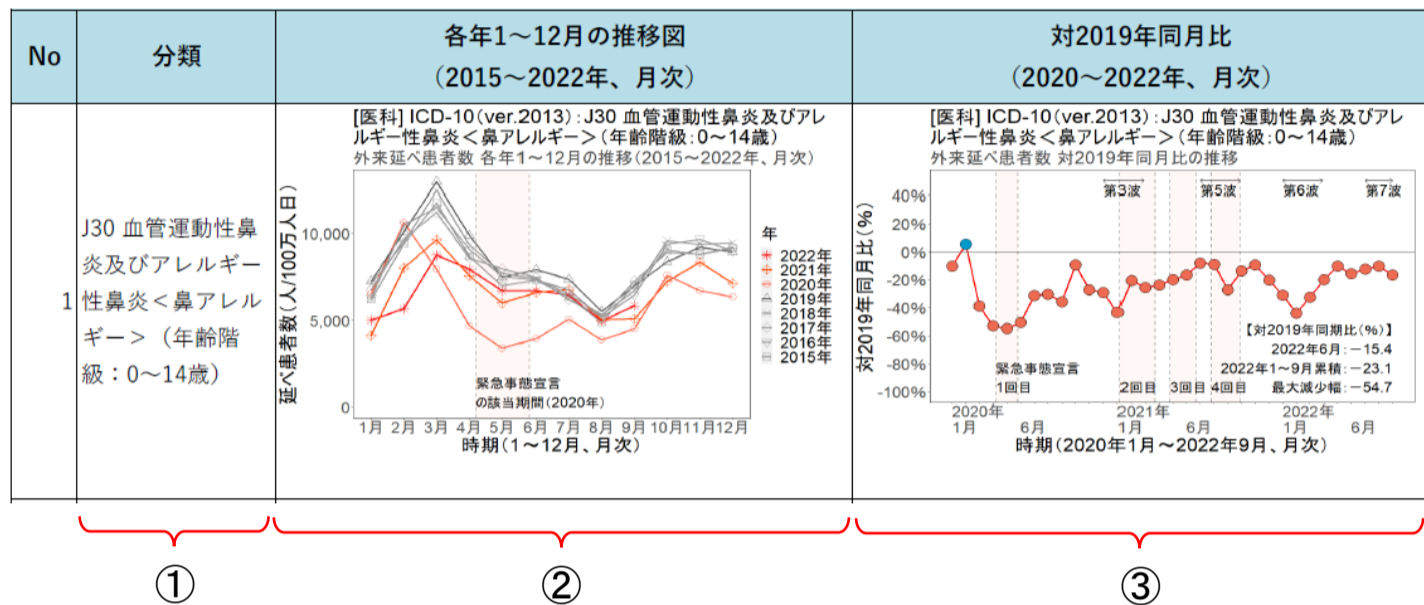
政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究VI

コロナ禍における受療動向の検証 資料編

## 資料編について

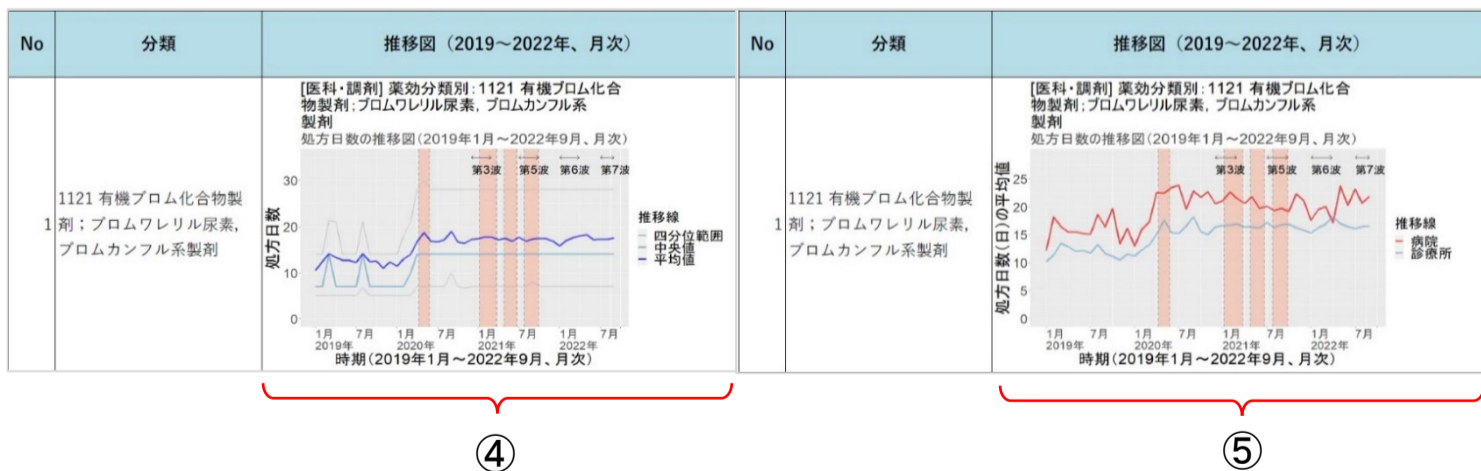
報告書のテーマ1-1「コロナ禍における受療動向の検証」において、健保組合レセプトデータを用いてコロナ禍前と比較した患者数の推移と処方日数の推移のグラフを作成し可視化を行った。その結果を資料編として公開する。実態の確認や今後の研究のための仮説構築等にお役立ていただければ幸いです。

### ●患者数の推移のグラフ



①	外来の延べ患者数の推移について、次の分類で集計を行った。			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>医科</th> <th>歯科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者数全体</li> <li>年齢階級別</li> <li>疾患 (ICD10) 別</li> <li>年齢階級・疾患 (ICD10) 別</li> <li>薬効分類別</li> <li>診療行為別</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者数全体</li> <li>年齢階級別</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	医科	歯科	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者数全体</li> <li>年齢階級別</li> <li>疾患 (ICD10) 別</li> <li>年齢階級・疾患 (ICD10) 別</li> <li>薬効分類別</li> <li>診療行為別</li> </ul>
医科	歯科			
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者数全体</li> <li>年齢階級別</li> <li>疾患 (ICD10) 別</li> <li>年齢階級・疾患 (ICD10) 別</li> <li>薬効分類別</li> <li>診療行為別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者数全体</li> <li>年齢階級別</li> </ul>			
②	2020年1月～2022年9月の延べ患者数の推移が過去5年と比べてどのような状態にあったか、年ごとに折れ線グラフを用いて可視化した。患者数の単位については各月の延べ加入者数100万人日当りに換算し、加入者数の増減に影響を受けないようにした。			
③	2020年1月～2022年9月の延べ患者数の対2019年同月比について、折れ線グラフを用いて可視化した。また、グラフ右下に、2022年6月の同月比、2020年1月～2022年9月の累積減少(増加)、最大減少月の同月比を数値で示した。			

### ●処方日数の推移のグラフ



④	2019年1月～2022年9月にかけての、外来における薬効分類別の医薬品の処方日数を集計し、四分位範囲、中央値、平均値の3つの指標について折れ線グラフを作成した。
⑤	④の平均値について、病院と診療所に分けて折れ線グラフを作成した。

# 目次

## 第 I 章 外来(医科)及び調剤

(ア) 外来延べ患者数	3
① 全体・年齢階級別	3
② ICD-10 別	4
③ 年齢階級別・ICD-10 別	55
・ 0～14 歳・ICD-10(Top 100)	55
・ 15～39 歳・ICD-10(Top 100)	75
・ 40～64 歳・ICD-10(Top 100)	95
④ 薬効分類別	115
・ 薬効分類別	115
・ これまで処方ルールの見直し・明確化の提言の対象となった医薬品	149
⑤ 診療行為別	150
(イ) 処方日数	158
① 全体・年齢階級別	158
② 薬効分類別	159
③ 薬効分類別・病院／診療所別	196

## 第 II 章 歯科

(ア) 外来延べ患者数	230
① 全体・年齢階級別	230

# 時系列グラフ

## 医科 全体・年齢階級別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	全体	<p><b>[医科] 全体</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p><b>[医科] 全体</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-3.4 2022年1～9月累積：-5.3 最大減少幅：-30.5</p>
2	0～14歳	<p><b>[医科] 年齢階級別：0～14歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p><b>[医科] 年齢階級別：0～14歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-15.2 2022年1～9月累積：-19.2 最大減少幅：-50.5</p>
3	15～39歳	<p><b>[医科] 年齢階級別：15～39歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p><b>[医科] 年齢階級別：15～39歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-0.2 2022年1～9月累積：-1.8 最大減少幅：-29.2</p>
4	40～64歳	<p><b>[医科] 年齢階級別：40～64歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p><b>[医科] 年齢階級別：40～64歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.5 2022年1～9月累積：0.1 最大減少幅：-20.8</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
1	A04 その他の細菌性腸管感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A04 その他の細菌性腸管感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -21.9 2022年1~9月累積: -30.6 最大減少幅: -45.8</p>
2	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -15.2 2022年1~9月累積: -21.4 最大減少幅: -58.4</p>
3	A49 部位不明の細菌感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -50.8 2022年1~9月累積: -48.7 最大減少幅: -55.3</p>
4	A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A56 その他の性的伝播性クラミジア疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 19.7 2022年1~9月累積: 14.1 最大減少幅: -11.8</p>
5	B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -1.5 2022年1~9月累積: -8.2 最大減少幅: -22.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	B02 带状疱疹 [带状ヘルペス]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
7	B07 ウイルス (性) いぼ<疣> <疣贅>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt; &lt;疣贅&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt; &lt;疣贅&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
8	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
9	B16 急性B型肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B16 急性B型肝炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
10	B18 慢性ウイルス性肝炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B18 慢性ウイルス性肝炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	B30 ウイルス(性)結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B30 ウイルス(性)結膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
12	B34 部位不明のウイルス感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B34 部位不明のウイルス感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
13	B35 皮膚糸状菌症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
14	B37 カンジダ症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
15	B59 ニューモシスチス症 (J17.3*)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	C16 胃の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C16 胃の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
17	C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C18 結腸の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
18	C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C34 気管支及び肺の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
19	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
20	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D18 血管腫及びリンパ管腫, 全ての部位 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	D22 メラニン細胞性母斑	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	D25 子宮平滑筋腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D25 子宮平滑筋腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	D27 卵巣の良性新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D37 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	D50 鉄欠乏性貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.3 2022年1～9月累積: 8.1 最大減少幅: -14.8</p>
32	D64 その他の貧血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D64 その他の貧血 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D64 その他の貧血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.1 2022年1～9月累積: 2.9 最大減少幅: -18.5</p>
33	D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 17.5 2022年1～9月累積: 8.8 最大減少幅: -21.3</p>
34	D68 その他の凝固障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D68 その他の凝固障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.6 2022年1～9月累積: 12.1 最大減少幅: -19.9</p>
35	D69 紫斑病及びその他の出血性病態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D69 紫斑病及びその他の出血性病態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.7 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -19.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
36	D70 無顆粒球症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D70 無顆粒球症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	D72 白血球のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D72 白血球のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	D75 血液及び造血器のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D75 血液及び造血器のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	D84 その他の免疫不全症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D84 その他の免疫不全症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
41	D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D89 その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	E03 その他の甲状腺機能低下症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E04 その他の非中毒性甲状腺腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	E06 甲状腺炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E06 甲状腺炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
46	E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 25.4 2022年1~9月累積: 24.3 最大減少幅: -3.2</p>
47	E14 詳細不明の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.8 2022年1~9月累積: 2.6 最大減少幅: -10.2</p>
48	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.7 2022年1~9月累積: 7.3 最大減少幅: -5.1</p>
49	E22 下垂体機能亢進症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E22 下垂体機能亢進症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.1 2022年1~9月累積: 6.0 最大減少幅: -20.9</p>
50	E28 卵巢機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巢機能障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E28 卵巢機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 26.5 2022年1~9月累積: 14.1 最大減少幅: -22.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	E53 その他のビタミンB群の欠乏症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	E79 プリン及びピリミジン代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	E86 体液量減少(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	F20 統合失調症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F20 統合失調症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F20 統合失調症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	F31 双極性感情障害<躁うつ病>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	F32 うつ病エピソード	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	F34 持続性気分[感情]障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F34 持続性気分[感情]障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
61	F40 恐怖症性不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F40 恐怖症性不安障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	F41 その他の不安障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	F43 重度ストレスへの反応及び適応障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	F44 解離性[転換性]障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性[転換性]障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F44 解離性[転換性]障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	F45 身体表現性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F45 身体表現性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	F48 その他の神経症性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	F80 会話及び言語の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	F82 運動機能の特異的発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F82 運動機能の特異的発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	F84 広汎性発達障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
71	F90 多動性障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F90 多動性障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	G20 パーキンソン< Parkinson>病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン&lt; Parkinson&gt;病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G20 パーキンソン&lt; Parkinson&gt;病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	G21 続発性パーキンソン< Parkinson>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン&lt; Parkinson&gt;症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン&lt; Parkinson&gt;症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	G25 その他の錐体外路障害及び異常運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G25 その他の錐体外路障害及び異常運動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	G40 てんかん	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	G43 片頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 25.1 2022年1～9月累積: 21.2 最大減少幅: -10.9</p>
77	G44 その他の頭痛症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G44 その他の頭痛症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.7 2022年1～9月累積: 11.0 最大減少幅: -13.5</p>
78	G47 睡眠障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.1 2022年1～9月累積: 12.7 最大減少幅: -7.8</p>
79	G56 上肢の単ニューロパチ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G56 上肢の単ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G56 上肢の単ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.9 2022年1～9月累積: 17.6 最大減少幅: -14.0</p>
80	G57 下肢の単ニューロパチ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G57 下肢の単ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G57 下肢の単ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.7 2022年1～9月累積: 5.0 最大減少幅: -16.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	G62 その他の多発 (性) ニューロパ チ<シ>ー	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;ー 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
82	G64 末梢神経系の その他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
83	G80 脳性麻痺	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
84	G90 自律神経系の 障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G90 自律神経系の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
85	G93 脳のその他の 障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G93 脳のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
86	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	H01 眼瞼のその他の炎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H01 眼瞼のその他の炎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	H02 眼瞼のその他の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H02 眼瞼のその他の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	H04 涙器の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
91	H10 結膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.1 2022年1~9月累積: -10.1 最大減少幅: -40.0</p>
92	H16 角膜炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.2 2022年1~9月累積: -0.4 最大減少幅: -30.9</p>
93	H25 老人性白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H25 老人性白内障 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H25 老人性白内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.1 2022年1~9月累積: 27.2 最大減少幅: -16.0</p>
94	H26 その他の白内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H26 その他の白内障 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H26 その他の白内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.4 2022年1~9月累積: 5.9 最大減少幅: -19.3</p>
95	H33 網膜剥離及び裂孔	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H33 網膜剥離及び裂孔 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.5 2022年1~9月累積: 13.0 最大減少幅: -18.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	H35 その他の網膜障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	H40 緑内障	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H40 緑内障 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	H43 硝子体の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H43 硝子体の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	H50 その他の斜視	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	H52 屈折及び調節の障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
101	H53 視覚障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
102	H60 外耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H60 外耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H60 外耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
103	H61 その他の外耳障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
104	H65 非化膿性中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
105	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
106	H68 耳管炎及び耳管閉塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H68 耳管炎及び耳管閉塞 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
107	H81 前庭機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H81 前庭機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
108	H90 伝音及び感音難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H90 伝音及び感音難聴 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
109	H91 その他の難聴	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H91 その他の難聴 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H91 その他の難聴 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
110	H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H93 耳のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
111	I10 本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.7 2022年1~9月累積:7.7 最大減少幅:-8.3</p>
112	I20 狭心症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I20 狭心症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:3.4 2022年1~9月累積:0.5 最大減少幅:-10.8</p>
113	I25 慢性虚血性心疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I25 慢性虚血性心疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.2 2022年1~9月累積:6.4 最大減少幅:-7.8</p>
114	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I34 非リウマチ性僧帽弁障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:12.2 2022年1~9月累積:8.2 最大減少幅:-11.5</p>
115	I48 心房細動及び粗動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):I48 心房細動及び粗動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:12.6 2022年1~9月累積:9.8 最大減少幅:-10.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
116	I49 その他の不整脈	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I49 その他の不整脈 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
117	I50 心不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I50 心不全 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I50 心不全 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
118	I63 脳梗塞	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I63 脳梗塞 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I63 脳梗塞 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
119	I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I65 脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
120	I67 その他の脳血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I67 その他の脳血管疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
121	169 脳血管疾患の 続発・後遺症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):169 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):169 脳血管疾患の続発・後遺症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:3.7 2022年1~9月累積:1.9 最大減少幅:-11.0</p>
122	170 アテローム< じゅく<粥>状> 硬化(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):170 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):170 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:7.1 2022年1~9月累積:4.3 最大減少幅:-10.6</p>
123	173 その他の末梢 血管疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):173 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):173 その他の末梢血管疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:15.0 2022年1~9月累積:12.8 最大減少幅:-14.4</p>
124	174 動脈の塞栓症 及び血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):174 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):174 動脈の塞栓症及び血栓症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:0.5 2022年1~9月累積:-4.6 最大減少幅:-12.3</p>
125	195 低血圧(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):195 低血圧(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):195 低血圧(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:18.9 2022年1~9月累積:12.9 最大減少幅:-16.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
126	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
127	J01 急性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
128	J02 急性咽喉炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽喉炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽喉炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
129	J03 急性扁桃炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
130	J04 急性喉頭炎及び び気管炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び び気管炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
131	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -33.6 2022年1～9月累積: -27.7 最大減少幅: -71.8</p>
132	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -92.9 2022年1～9月累積: -79.6 最大減少幅: -99.9</p>
133	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -84.6 2022年1～9月累積: -98.0 最大減少幅: -99.5</p>
134	J20 急性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -38.7 2022年1～9月累積: -35.6 最大減少幅: -77.3</p>
135	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -14.3 2022年1～9月累積: -18.6 最大減少幅: -40.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
136	J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
137	J32 慢性副鼻腔炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
138	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
139	J42 詳細不明の慢性気管支炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
140	J45 喘息	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
141	K12 口内炎及び関連病変	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
142	K21 胃食道逆流症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
143	K25 胃潰瘍	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
144	K29 胃炎及び十二指腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
145	K31 胃及び十二指腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K31 胃及び十二指腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
146	K51 潰瘍性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K51 潰瘍性大腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
147	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
148	K58 過敏性腸症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K58 過敏性腸症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
149	K59 その他の腸の機能障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K59 その他の腸の機能障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
150	K63 腸のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K63 腸のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
151	K64 痔核及び肛門 周囲静脈血栓症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
152	K73 慢性肝炎, 他 に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
153	K76 その他の肝疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K76 その他の肝疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
154	K80 胆石症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K80 胆石症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K80 胆石症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
155	K82 胆のう<囊> のその他の疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K82 胆のう&lt;囊&gt;のその他の疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K82 胆のう&lt;囊&gt;のその他の疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
156	L01 膿か<痂>疹	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿か&lt;痂&gt;疹 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿か&lt;痂&gt;疹 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -14.4 2022年1~9月累積: -15.9 最大減少幅: -26.2</p>
157	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.1 2022年1~9月累積: -3.0 最大減少幅: -16.1</p>
158	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.5 2022年1~9月累積: 18.2 最大減少幅: -11.2</p>
159	L20 アトピー性皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.9 2022年1~9月累積: 2.9 最大減少幅: -15.6</p>
160	L21 脂漏性皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.9 2022年1~9月累積: 13.4 最大減少幅: -11.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
161	L25 詳細不明の接触皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
162	L27 摂取物質による皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L27 摂取物質による皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
163	L29 そう<掻>痒症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L29 そう&lt;掻&gt;痒症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L29 そう&lt;掻&gt;痒症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
164	L30 その他の皮膚炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
165	L50 じんま<蕁麻>疹	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻&gt;疹 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻&gt;疹 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
166	L70 ざ瘡<アクネ>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
167	L81 その他の色素異常症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
168	L84 うおのめ<鶏眼>及びべんち<胼胝>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L84 うおのめ&lt;鶏眼&gt;及びべんち&lt;胼胝&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L84 うおのめ&lt;鶏眼&gt;及びべんち&lt;胼胝&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
169	L85 その他の表皮肥厚	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
170	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
171	M06 その他の関節リウマチ	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M06 その他の関節リウマチ 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.0 2022年1～9月累積: 5.7 最大減少幅: -13.3</p>
172	M10 痛風	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M10 痛風 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M10 痛風 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.4 2022年1～9月累積: -0.7 最大減少幅: -9.8</p>
173	M13 その他の関節炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M13 その他の関節炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.2 2022年1～9月累積: 7.9 最大減少幅: -19.1</p>
174	M17 膝関節症 [膝の関節症]	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M17 膝関節症 [膝の関節症] 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M17 膝関節症 [膝の関節症] 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.6 2022年1～9月累積: 8.0 最大減少幅: -16.9</p>
175	M19 その他の関節症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M19 その他の関節症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M19 その他の関節症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 27.0 2022年1～9月累積: 24.4 最大減少幅: -8.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
176	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
177	M47 脊椎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M47 脊椎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
178	M48 その他の脊椎障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
179	M50 頸部椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M50 頸部椎間板障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
180	M51 その他の椎間板障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M51 その他の椎間板障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
181	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.5 2022年1~9月累積: 5.6 最大減少幅: -15.2</p>
182	M54 背部痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.0 2022年1~9月累積: 7.1 最大減少幅: -14.5</p>
183	M75 肩の傷害<損傷>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.8 2022年1~9月累積: 17.9 最大減少幅: -13.3</p>
184	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.2 2022年1~9月累積: 13.9 最大減少幅: -14.1</p>
185	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.1 2022年1~9月累積: 8.3 最大減少幅: -13.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
186	N18 慢性腎臓病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
187	N19 詳細不明の腎不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
188	N20 腎結石及び尿管結石	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
189	N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
190	N30 膀胱炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N30 膀胱炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N30 膀胱炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
191	N32 その他の膀胱障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 21.3 2022年1~9月累積: 17.4 最大減少幅: -11.1</p>
192	N40 前立腺肥大(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 11.3 2022年1~9月累積: 10.6 最大減少幅: -9.9</p>
193	N76 膣及び外陰のその他の炎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N76 膣及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N76 膣及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.0 2022年1~9月累積: -3.6 最大減少幅: -17.7</p>
194	N80 子宮内膜症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 51.6 2022年1~9月累積: 43.1 最大減少幅: -9.5</p>
195	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.6 2022年1~9月累積: 1.4 最大減少幅: -22.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
196	N87 子宮頸(部)の異形成	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月:17.2 2022年1~9月累積:12.1 最大減少幅:-20.2</p>
197	N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月:30.9 2022年1~9月累積:24.5 最大減少幅:-17.0</p>
198	N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月:66.0 2022年1~9月累積:59.6 最大減少幅:0.5</p>
199	N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月:36.1 2022年1~9月累積:30.3 最大減少幅:-12.1</p>
200	N97 女性不妊症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月:45.5 2022年1~9月累積:21.6 最大減少幅:-24.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
201	O20 妊娠早期の出血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -10.7 2022年1～9月累積: -12.3 最大減少幅: -17.4</p>
202	O21 過度の妊娠嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 24.2 2022年1～9月累積: 23.3 最大減少幅: -7.5</p>
203	O24 妊娠中の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.6 2022年1～9月累積: 6.5 最大減少幅: -5.5</p>
204	O60 切迫早産及び早産	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -9.4 2022年1～9月累積: -17.0 最大減少幅: -22.1</p>
205	O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく&lt;褥&gt;に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.5 2022年1～9月累積: -5.1 最大減少幅: -14.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
206	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
207	Q21 心(臓)中隔の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
208	Q25 大型動脈の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
209	Q61 のう<囊>胞性腎疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう&lt;囊&gt;胞性腎疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう&lt;囊&gt;胞性腎疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
210	Q65 股関節部の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
211	Q66 足の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
212	Q78 その他の骨軟骨異形成<形成異常>(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成&lt;形成異常&gt;(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成&lt;形成異常&gt;(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
213	Q82 皮膚のその他の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
214	Q90 ダウン<Down>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン&lt;Down&gt;症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン&lt;Down&gt;症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
215	R00 心拍の異常	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
216	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -1.6 2022年1～9月累積: 7.7 最大減少幅: -47.7</p>
217	R10 腹痛及び骨盤痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.4 2022年1～9月累積: 9.7 最大減少幅: -27.2</p>
218	R11 悪心及び嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.0 2022年1～9月累積: 1.2 最大減少幅: -40.6</p>
219	R25 異常不随意運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.2 2022年1～9月累積: 15.3 最大減少幅: -9.1</p>
220	R31 詳細不明の血尿	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.5 2022年1～9月累積: 2.9 最大減少幅: -25.5</p>



# 時系列グラフ

## 医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
221	R42 めまい<眩暈> >感及びよろめき感	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.8 2022年1～9月累積: 12.4 最大減少幅: -16.9</p>
222	R50 その他の原因 による熱及び不明熱	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 47.2 2022年1～9月累積: 83.9 最大減少幅: -67.5</p>
223	R51 頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.7 2022年1～9月累積: 32.2 最大減少幅: -23.4</p>
224	R52 疼痛, 他に分類 されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 34.2 2022年1～9月累積: 29.1 最大減少幅: -9.2</p>
225	R53 倦怠(感)及び疲労	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 33.4 2022年1～9月累積: 41.1 最大減少幅: -9.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
226	R60 浮腫, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
227	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
228	R68 その他の全身症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
229	R73 血糖値上昇	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
230	S00 頭部の表在損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
231	S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.0 2022年1~9月累積: -2.7 最大減少幅: -18.2</p>
232	S42 肩及び上腕の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.9 2022年1~9月累積: 3.5 最大減少幅: -18.0</p>
233	S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 47.6 2022年1~9月累積: 40.0 最大減少幅: -1.9</p>
234	S52 前腕の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.8 2022年1~9月累積: 4.0 最大減少幅: -19.8</p>
235	S62 手首及び手の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.6 2022年1~9月累積: 1.8 最大減少幅: -42.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
236	S82 下腿の骨折, 足首を含む	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 11.5 2022年1~9月累積: 7.1 最大減少幅: -26.0</p>
237	S83 膝の関節及び 靭帯の脱臼, 捻挫 及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.9 2022年1~9月累積: 11.5 最大減少幅: -23.4</p>
238	S92 足の骨折, 足 首を除く	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 21.1 2022年1~9月累積: 16.3 最大減少幅: -17.0</p>
239	S93 足首及び足の 関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びスト レイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.5 2022年1~9月累積: 2.5 最大減少幅: -46.0</p>
240	T14 部位不明の損 傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -4.2 2022年1~9月累積: -7.2 最大減少幅: -31.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
241	T63 有毒動物との接触による毒作用	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -16.3 2022年1～9月累積: -16.9 最大減少幅: -35.9</p>
242	T78 有害作用, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.3 2022年1～9月累積: 9.5 最大減少幅: -30.6</p>
243	T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.5 2022年1～9月累積: 5.1 最大減少幅: -4.0</p>
244	T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.5 2022年1～9月累積: 28.1 最大減少幅: -13.5</p>
245	Z33 妊娠中の女性	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.8 2022年1～9月累積: 7.9 最大減少幅: -10.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
246	Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
247	Z93 人工的開口状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
248	Z94 臓器及び組織の移植後の状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
249	Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
250	Z96 その他の機能性の挿入物の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
251	Z98 その他の術後状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 23.7 2022年1～9月累積: 20.5 最大減少幅: -12.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	J45 喘息 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
5	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
7	H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
8	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
9	J02 急性咽頭炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽頭炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽頭炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
10	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
12	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
13	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]&lt;感冒&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]&lt;感冒&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
14	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
15	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	H61 その他の外耳障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
17	H65 非化膿性中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
18	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
19	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
20	H60 外耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	L50 じんま<蕁麻疹>疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	L01 膿か<痂>疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L01 膿か&lt;痂&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L01 膿か&lt;痂&gt;疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
32	R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
33	L29 そう<掻>痒症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう&lt;掻&gt;痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう&lt;掻&gt;痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
34	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
35	H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L22 おむつ&lt;ナプキン&gt;皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L22 おむつ&lt;ナプキン&gt;皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-20.6 2022年1～9月累積：-20.6 最大減少幅：-37.1</p>
47	H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：0.3 2022年1～9月累積：-2.8 最大減少幅：-46.7</p>
48	R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：33.6 2022年1～9月累積：25.9 最大減少幅：-51.3</p>
49	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.8 2022年1～9月累積：1.1 最大減少幅：-28.4</p>
50	G40 てんかん (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.4 2022年1～9月累積：-5.1 最大減少幅：-28.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん&lt;痙攣&gt;, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん&lt;痙攣&gt;, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	H53 視覚障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	J46 喘息発作重積状態 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	L74 エクリン汗腺の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt;(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害&lt;精神遅滞&gt;(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F98 小児&lt;児童&gt;期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F98 小児&lt;児童&gt;期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-1.4 2022年1～9月累積：-4.9 最大減少幅：-55.5</p>
82	Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：17.8 2022年1～9月累積：19.7 最大減少幅：-27.3</p>
83	M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：8.2 2022年1～9月累積：2.0 最大減少幅：-42.2</p>
84	M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：6.5 2022年1～9月累積：0.0 最大減少幅：-52.9</p>
85	S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-8.8 2022年1～9月累積：-11.6 最大減少幅：-25.4</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	L28 慢性単純性苔せん<癬>及び痒疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん&lt;癬&gt;及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん&lt;癬&gt;及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎&lt;蜂窩織炎&gt; (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
92	L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
93	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
94	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
95	D22 メラニン細胞性母斑 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-18.7 2022年1～9月累積：-21.1 最大減少幅：-44.9</p>
2	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-37.8 2022年1～9月累積：-23.3 最大減少幅：-73.9</p>
3	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-4.8 2022年1～9月累積：-6.3 最大減少幅：-30.6</p>
4	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-11.5 2022年1～9月累積：-12.5 最大減少幅：-48.0</p>
5	H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-1.9 2022年1～9月累積：-13.1 最大減少幅：-44.2</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	J20 急性気管支炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-49.9 2022年1～9月累積：-33.1 最大減少幅：-79.4</p>
7	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：12.7 2022年1～9月累積：9.5 最大減少幅：-11.9</p>
8	G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：25.8 2022年1～9月累積：21.2 最大減少幅：-8.6</p>
9	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：21.2 2022年1～9月累積：19.7 最大減少幅：-3.9</p>
10	F32 うつ病エピソード (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F32 うつ病エピソード(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F32 うつ病エピソード(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：28.7 2022年1～9月累積：24.4 最大減少幅：-7.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	J45 喘息 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-26.1 2022年1～9月累積：-21.6 最大減少幅：-44.2</p>
12	J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-34.8 2022年1～9月累積：-10.7 最大減少幅：-73.2</p>
13	L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：28.9 2022年1～9月累積：30.2 最大減少幅：-0.5</p>
14	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-14.3 2022年1～9月累積：-20.7 最大減少幅：-55.1</p>
15	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.2 2022年1～9月累積：8.1 最大減少幅：-6.3</p>

# 時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
17	E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
18	M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
19	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
20	K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-28.2 2022年1～9月累積：-29.4 最大減少幅：-49.0</p>
22	R51 頭痛(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：29.3 2022年1～9月累積：28.0 最大減少幅：-29.8</p>
23	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.2 2022年1～9月累積：7.7 最大減少幅：-14.9</p>
24	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：18.5 2022年1～9月累積：16.6 最大減少幅：-11.2</p>
25	F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F41 その他の不安障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：26.8 2022年1～9月累積：23.6 最大減少幅：-9.9</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：14.1 2022年1～9月累積：10.5 最大減少幅：-8.8</p>
27	N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N97 女性不妊症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：45.4 2022年1～9月累積：22.4 最大減少幅：-24.0</p>
28	N76 膣及び外陰の その他の炎症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-1.7 2022年1～9月累積：-5.6 最大減少幅：-13.3</p>
29	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-2.3 2022年1～9月累積：-7.4 最大減少幅：-36.9</p>
30	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-39.5 2022年1～9月累積：-23.4 最大減少幅：-64.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	K25 胃潰瘍 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K25 胃潰瘍(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-4.2 2022年1～9月累積：-8.0 最大減少幅：-24.8</p>
32	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：18.5 2022年1～9月累積：13.5 最大減少幅：-13.4</p>
33	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt;(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] &lt;感冒&gt;(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-38.6 2022年1～9月累積：-26.3 最大減少幅：-73.2</p>
34	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：9.3 2022年1～9月累積：10.7 最大減少幅：-3.8</p>
35	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：4.8 2022年1～9月累積：-0.6 最大減少幅：-18.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	L50 じんま<蕁麻>疹 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま&lt;蕁麻&gt;疹 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま&lt;蕁麻&gt;疹 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性&lt;一次性&gt;)高血圧(症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 10.7 2022年1～9月累積: 1.2 最大減少幅: -42.0</p>
42	G40 てんかん(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 3.3 2022年1～9月累積: -0.9 最大減少幅: -15.3</p>
43	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -54.7 2022年1～9月累積: -43.6 最大減少幅: -78.9</p>
44	M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 5.7 2022年1～9月累積: 2.5 最大減少幅: -18.6</p>
45	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -94.1 2022年1～9月累積: -99.5 最大減少幅: -99.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：36.0 2022年1～9月累積：33.7 最大減少幅：-3.4</p>
47	O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-10.3 2022年1～9月累積：-11.5 最大減少幅：-16.9</p>
48	H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：16.7 2022年1～9月累積：13.0 最大減少幅：-33.3</p>
49	F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：33.9 2022年1～9月累積：29.5 最大減少幅：-4.8</p>
50	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;- (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;- (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.0 2022年1～9月累積：7.1 最大減少幅：-19.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G43 片頭痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B37 カンジダ症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E14 詳細不明の糖尿病 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：15.6 2022年1～9月累積：9.4 最大減少幅：-27.8</p>
57	H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H60 外耳炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：13.5 2022年1～9月累積：10.4 最大減少幅：-23.6</p>
58	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-12.2 2022年1～9月累積：-9.0 最大減少幅：-15.5</p>
59	K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：17.0 2022年1～9月累積：10.4 最大減少幅：-19.7</p>
60	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：7.1 2022年1～9月累積：4.7 最大減少幅：-16.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	N80 子宮内膜症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	D25 子宮平滑筋腫 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D25 子宮平滑筋腫(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D25 子宮平滑筋腫(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：29.8 2022年1～9月累積：19.7 最大減少幅：-22.1</p>
72	M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：15.2 2022年1～9月累積：10.1 最大減少幅：-18.5</p>
73	E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E22 下垂体機能亢進症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：15.1 2022年1～9月累積：3.9 最大減少幅：-22.6</p>
74	J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-51.1 2022年1～9月累積：-46.5 最大減少幅：-73.4</p>
75	L29 そう<搔>痒症(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう&lt;搔&gt;痒症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう&lt;搔&gt;痒症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：15.1 2022年1～9月累積：10.6 最大減少幅：-8.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	H01 眼瞼のその他 の炎症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	F43 重度ストレス への反応及び適応 障害 (年齢階級： 15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	O60 切迫早産及び 早産 (年齢階級： 15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	N30 膀胱炎 (年齢 階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	D27 卵巣の良性新 生物<腫瘍> (年 齢階級：15～39 歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D27 卵巣の良性新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F45 身体表現性障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
82	M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
83	H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
84	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H00 麦粒腫及びさん&lt;霰&gt;粒腫 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
85	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	F90 多動性障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
92	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
93	M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
94	S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
95	M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	H81 前庭機能障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H81 前庭機能障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	N87 子宮頸(部)の異形成 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N87 子宮頸(部)の異形成(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N87 子宮頸(部)の異形成(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B00 ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	I10 本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性（原発性&lt;一次性&gt;）高血圧（症）（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 各年1～12月の推移（2015～2022年、月次）</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性（原発性&lt;一次性&gt;）高血圧（症）（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 各年1～12月の推移（2015～2022年、月次）</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク&lt;蛋白&gt;代謝障害及びその他の脂血症（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt;（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 各年1～12月の推移（2015～2022年、月次）</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎&lt;鼻アレルギー&gt;（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	K29 胃炎及び十二指腸炎（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 各年1～12月の推移（2015～2022年、月次）</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
5	G47 睡眠障害（年齢階級：40～64歳）	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 各年1～12月の推移（2015～2022年、月次）</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害（年齢階級：40～64歳） 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	K21 胃食道逆流症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K21 胃食道逆流症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：10.8 2022年1～9月累積：8.8 最大減少幅：-10.9</p>
7	M54 背部痛(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：8.4 2022年1～9月累積：5.8 最大減少幅：-13.0</p>
8	H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：3.2 2022年1～9月累積：1.6 最大減少幅：-28.6</p>
9	E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E14 詳細不明の糖尿病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.2 2022年1～9月累積：0.1 最大減少幅：-10.7</p>
10	H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.6 2022年1～9月累積：-4.3 最大減少幅：-31.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：13.3 2022年1～9月累積：9.4 最大減少幅：-11.6</p>
12	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：11.0 2022年1～9月累積：8.4 最大減少幅：-13.1</p>
13	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-50.2 2022年1～9月累積：-34.8 最大減少幅：-73.0</p>
14	J45 喘息 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-17.7 2022年1～9月累積：-15.0 最大減少幅：-27.5</p>
15	M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M47 脊椎症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：10.3 2022年1～9月累積：7.4 最大減少幅：-17.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：8.1 2022年1～9月累積：7.9 最大減少幅：-6.7</p>
17	K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：10.6 2022年1～9月累積：10.1 最大減少幅：-10.5</p>
18	K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-6.7 2022年1～9月累積：-9.3 最大減少幅：-18.4</p>
19	F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：11.1 2022年1～9月累積：8.9 最大減少幅：-7.0</p>
20	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：11.4 2022年1～9月累積：7.0 最大減少幅：-14.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	M75 肩の傷害<損傷> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害&lt;損傷&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症 [膝の関節症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E11 2型&lt;インスリン非依存性&gt;糖尿病&lt;NIDDM&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;- (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G62 その他の多発(性)ニューロパチ&lt;シ&gt;- (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M51 その他の椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽頭炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう&lt;鬆&gt;症&lt;オステオポロシス&gt;、病的骨折を伴わないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
32	I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
33	R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
34	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
35	H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：15.8 2022年1～9月累積：13.9 最大減少幅：-10.4</p>
37	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-19.8 2022年1～9月累積：-20.5 最大減少幅：-34.8</p>
38	N18 慢性腎臓病 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N18 慢性腎臓病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N18 慢性腎臓病(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：13.2 2022年1～9月累積：7.8 最大減少幅：-6.3</p>
39	I50 心不全 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：22.7 2022年1～9月累積：19.3 最大減少幅：-8.0</p>
40	N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：33.3 2022年1～9月累積：27.6 最大減少幅：-12.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル&lt;鈣質&gt;代謝障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H04 涙器の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
47	I70 アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I70 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化 (症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): I70 アテローム&lt;じゅく&lt;粥&gt;状&gt;硬化 (症) (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
48	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
49	R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい&lt;眩暈&gt;感及びよろめき感 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
50	L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま&lt;蕁麻疹&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -47.2 2022年1～9月累積: -43.7 最大減少幅: -62.5</p>
52	N19 詳細不明の腎不全 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.9 2022年1～9月累積: 2.9 最大減少幅: -6.8</p>
53	M48 その他の脊椎障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M48 その他の脊椎障害(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 11.4 2022年1～9月累積: 8.3 最大減少幅: -15.4</p>
54	D25 子宮平滑筋腫 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.6 2022年1～9月累積: 13.7 最大減少幅: -24.9</p>
55	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.8 2022年1～9月累積: 12.9 最大減少幅: -16.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	E21 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E21 副甲状腺&lt;上皮小体&gt;機能亢進症及びその他の副甲状腺&lt;上皮小体&gt;障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M13 その他の関節炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	M10 痛風 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M10 痛風 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M10 痛風 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B07 ウイルス(性)いぼ&lt;疣&gt;&lt;疣贅&gt;(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	F20 統合失調症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	G43 片頭痛 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G43 片頭痛(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そうく搔痒症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：13.8 2022年1～9月累積：9.1 最大減少幅：-8.2</p>
67	M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M50 頸部椎間板障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：9.6 2022年1～9月累積：8.8 最大減少幅：-18.0</p>
68	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：22.2 2022年1～9月累積：16.7 最大減少幅：-14.5</p>
69	M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M19 その他の関節症 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：24.2 2022年1～9月累積：21.9 最大減少幅：-8.2</p>
70	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] &lt;感冒&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] &lt;感冒&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-46.9 2022年1～9月累積：-36.3 最大減少幅：-69.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K58 過敏性腸症候群 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M06 その他の関節リウマチ (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E28 卵巣機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : G64 末梢神経系のその他の障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H26 その他の白内障 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物&lt;腫瘍&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H81 前庭機能障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 4.3 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -10.6</p>
82	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 15.1 2022年1～9月累積: 9.9 最大減少幅: -9.0</p>
83	K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K73 慢性肝炎、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 3.1 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -9.8</p>
84	R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 19.6 2022年1～9月累積: 14.9 最大減少幅: -6.9</p>
85	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 2.3 2022年1～9月累積: 0.0 最大減少幅: -14.4</p>



時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	G40 てんかん (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E03 その他の甲状腺機能低下症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	L81 その他の色素異常症 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L81 その他の色素異常症(年齢階級:40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
92	N40 前立腺肥大 (症) (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症)(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症)(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
93	F31 双極性感情障害<躁うつ病> (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt;(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F31 双極性感情障害&lt;躁うつ病&gt;(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
94	M65 滑膜炎及び腱鞘炎 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M65 滑膜炎及び腱鞘炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M65 滑膜炎及び腱鞘炎(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
95	H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H53 視覚障害(年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：40～64歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	L70 ざ瘡<アクネ> > (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡&lt;アクネ&gt; (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：19.0 2022年1～9月累積：16.1 最大減少幅：-11.2</p>
97	F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F45 身体表現性障害 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.9 2022年1～9月累積：2.3 最大減少幅：-12.5</p>
98	E05 甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症] (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：12.0 2022年1～9月累積：9.2 最大減少幅：-11.6</p>
99	K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変 (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.0 2022年1～9月累積：0.0 最大減少幅：-18.3</p>
100	N28 腎及び尿管の その他の障害、他 に分類されないもの (年齢階級：40～64歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの (年齢階級：40～64歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：18.1 2022年1～9月累積：16.3 最大減少幅：-8.7</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1124 ベンゾジアゼピン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1124 ベンゾジアゼピン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	1129 その他の催眠鎮静剤，抗不安剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1129 その他の催眠鎮静剤，抗不安剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1129 その他の催眠鎮静剤，抗不安剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
5	1132 ヒダントイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1132 ヒダントイン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1132 ヒダントイン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	1139 その他の抗てんかん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1139 その他の抗てんかん剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1139 その他の抗てんかん剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
7	1141 アニリン系製剤;メフェナム酸,フルフェナム酸等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1141 アニリン系製剤;メフェナム酸,フルフェナム酸等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1141 アニリン系製剤;メフェナム酸,フルフェナム酸等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
8	1143 サリチル酸系製剤;アスピリン等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1143 サリチル酸系製剤;アスピリン等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1143 サリチル酸系製剤;アスピリン等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
9	1144 ピラゾロン系製剤;アンチピリン,スルピリン等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1144 ピラゾロン系製剤;アンチピリン,スルピリン等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1144 ピラゾロン系製剤;アンチピリン,スルピリン等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
10	1145 インドメタシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1145 インドメタシン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1145 インドメタシン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	1147 フェニル酢酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1147 フェニル酢酸系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1147 フェニル酢酸系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -9.7 2022年1～9月累積: -9.9 最大減少幅: -25.8</p>
12	1148 塩基性消炎鎮痛剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1148 塩基性消炎鎮痛剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1148 塩基性消炎鎮痛剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -58.7 2022年1～9月累積: -52.9 最大減少幅: -75.7</p>
13	1149 その他の解熱鎮痛消炎剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -18.9 2022年1～9月累積: -13.2 最大減少幅: -40.0</p>
14	116 抗パーキンソン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 116 抗パーキンソン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 116 抗パーキンソン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.0 2022年1～9月累積: -1.4 最大減少幅: -8.7</p>
15	1171 クロルプロマジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1171 クロルプロマジン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1171 クロルプロマジン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -0.1 2022年1～9月累積: -4.3 最大減少幅: -9.8</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	1172 フェノチアジン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1172 フェノチアジン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1172 フェノチアジン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.8 2022年1～9月累積: -2.8 最大減少幅: -9.8</p>
17	1174 イミプラミン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1174 イミプラミン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1174 イミプラミン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -14.8 2022年1～9月累積: -16.2 最大減少幅: -21.3</p>
18	1179 その他の精神神経用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1179 その他の精神神経用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1179 その他の精神神経用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.9 2022年1～9月累積: 10.9 最大減少幅: -5.9</p>
19	118 総合感冒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 118 総合感冒剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 118 総合感冒剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -72.6 2022年1～9月累積: -62.4 最大減少幅: -83.8</p>
20	119 その他の中枢神経系用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 119 その他の中枢神経系用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 119 その他の中枢神経系用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 67.5 2022年1～9月累積: 62.4 最大減少幅: -0.4</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	121 局所麻酔剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 121 局所麻酔剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 121 局所麻酔剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -9.9 2022年1～9月累積: -16.5 最大減少幅: -31.3</p>
22	122 骨格筋弛緩剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 122 骨格筋弛緩剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 122 骨格筋弛緩剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 3.9 2022年1～9月累積: 4.4 最大減少幅: -19.6</p>
23	123 自律神経剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 123 自律神経剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 123 自律神経剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.4 2022年1～9月累積: -9.0 最大減少幅: -30.9</p>
24	1242 アトロピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1242 アトロピン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1242 アトロピン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -8.8 2022年1～9月累積: -20.6 最大減少幅: -42.1</p>
25	1249 その他の鎮けい剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1249 その他の鎮けい剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1249 その他の鎮けい剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -3.2 2022年1～9月累積: -5.0 最大減少幅: -19.6</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	131 眼科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 131 眼科用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 131 眼科用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -1.6 2022年1～9月累積: -9.5 最大減少幅: -40.7</p>
27	132 耳鼻科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 132 耳鼻科用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 132 耳鼻科用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -4.5 2022年1～9月累積: -16.3 最大減少幅: -45.0</p>
28	133 鎮暈剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 133 鎮暈剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 133 鎮暈剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 11.9 2022年1～9月累積: 9.3 最大減少幅: -18.1</p>
29	2113 ジギタリス製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2113 ジギタリス製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2113 ジギタリス製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -33.7 2022年1～9月累積: -34.3 最大減少幅: -38.7</p>
30	2115 カフェイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2115 カフェイン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2115 カフェイン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -27.3 2022年1～9月累積: -29.2 最大減少幅: -57.8</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	2119 その他の強心剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2119 その他の強心剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2119 その他の強心剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -28.4 2022年1～9月累積: -31.0 最大減少幅: -34.9</p>
32	2123 β-遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2123 β-遮断剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2123 β-遮断剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 15.7 2022年1～9月累積: 14.4 最大減少幅: -2.9</p>
33	2129 その他の不整脈用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2129 その他の不整脈用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2129 その他の不整脈用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -0.2 2022年1～9月累積: -1.1 最大減少幅: -8.2</p>
34	213 利尿剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:213 利尿剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:213 利尿剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 12.3 2022年1～9月累積: 9.6 最大減少幅: -4.9</p>
35	2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -11.7 2022年1～9月累積: -13.3 最大減少幅: -15.9</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	2145 メチルドパ製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2145 メチルドパ製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2145 メチルドパ製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 5.8 2022年1～9月累積: 2.0 最大減少幅: -12.8</p>
37	2149 その他の血圧降下剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2149 その他の血圧降下剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2149 その他の血圧降下剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 8.1 2022年1～9月累積: 8.0 最大減少幅: -5.1</p>
38	216 血管収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 216 血管収縮剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 216 血管収縮剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 26.9 2022年1～9月累積: 22.5 最大減少幅: -9.6</p>
39	217 血管拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 217 血管拡張剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 217 血管拡張剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.3 2022年1～9月累積: 11.5 最大減少幅: -4.6</p>
40	2183 クロフィブラート系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2183 クロフィブラート系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2183 クロフィブラート系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 34.0 2022年1～9月累積: 35.9 最大減少幅: 3.2</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	2189 その他の高脂血症用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2189 その他の高脂血症用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2189 その他の高脂血症用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	219 その他の循環器官用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 219 その他の循環器官用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 219 その他の循環器官用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	222 鎮咳剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 222 鎮咳剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 222 鎮咳剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	2231 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2231 植物性製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2231 植物性製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	2233 システイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2233 システイン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2233 システイン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	2234 ブロムヘキシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2234 ブロムヘキシン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2234 ブロムヘキシン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
47	2239 その他の去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2239 その他の去たん剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2239 その他の去たん剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
48	2241 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2241 植物性製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2241 植物性製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
49	2242 コデイン系製剤(家庭麻薬)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2242 コデイン系製剤(家庭麻薬) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2242 コデイン系製剤(家庭麻薬) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
50	2249 その他の鎮咳去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2249 その他の鎮咳去たん剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2249 その他の鎮咳去たん剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	2251 キサンチン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2251 キサンチン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2251 キサンチン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -48.5 2022年1～9月累積: -45.3 最大減少幅: -54.7</p>
52	2252 イソプレナリン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2252 イソプレナリン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2252 イソプレナリン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -66.3 2022年1～9月累積: -66.3 最大減少幅: -80.7</p>
53	2254 サルブタモール製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2254 サルブタモール製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2254 サルブタモール製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -42.8 2022年1～9月累積: -46.2 最大減少幅: -56.2</p>
54	2259 その他の気管支拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2259 その他の気管支拡張剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2259 その他の気管支拡張剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -40.7 2022年1～9月累積: -45.1 最大減少幅: -76.6</p>
55	226 含嗽剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 226 含嗽剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 226 含嗽剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -45.4 2022年1～9月累積: -30.6 最大減少幅: -65.8</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	229 その他の呼吸器用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 229 その他の呼吸器用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 229 その他の呼吸器用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
57	231 止しゃ剤, 整腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 231 止しゃ剤, 整腸剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 231 止しゃ剤, 整腸剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
58	2321 メチルメチオニン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2321 メチルメチオニン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2321 メチルメチオニン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
59	2323 アズレン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2323 アズレン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2323 アズレン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
60	2325 H2遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2325 H2遮断剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2325 H2遮断剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	2329 その他の消化性潰瘍用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2329 その他の消化性潰瘍用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2329 その他の消化性潰瘍用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	2331 消化酵素製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2331 消化酵素製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2331 消化酵素製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	2339 その他の健胃消化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2339 その他の健胃消化剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2339 その他の健胃消化剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	234 制酸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 234 制酸剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 234 制酸剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	2354 植物性製剤; センナ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2354 植物性製剤; センナ等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2354 植物性製剤; センナ等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	2357 グリセリン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2357 グリセリン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2357 グリセリン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:2.4 2022年1～9月累積:-2.2 最大減少幅:-19.9</p>
67	2359 その他の下剤, 浣腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2359 その他の下剤, 浣腸剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2359 その他の下剤, 浣腸剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:30.5 2022年1～9月累積:26.4 最大減少幅:-5.4</p>
68	236 利胆剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:236 利胆剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:236 利胆剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:11.3 2022年1～9月累積:8.7 最大減少幅:-5.8</p>
69	2391 鎮吐剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2391 鎮吐剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2391 鎮吐剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:32.3 2022年1～9月累積:22.8 最大減少幅:-6.6</p>
70	2399 他に分類されない消化器 官用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2399 他に分類されない消化器 官用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2399 他に分類されない消化器 官用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-14.4 2022年1～9月累積:-14.6 最大減少幅:-50.3</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	241 脳下垂体ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:241 脳下垂体ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:241 脳下垂体ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	2451 エピネフリン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2451 エピネフリン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2451 エピネフリン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	2452 コルチゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2452 コルチゾン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2452 コルチゾン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	2456 プレドニゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2456 プレドニゾン系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2456 プレドニゾン系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	2459 その他の副腎ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2459 その他の副腎ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2459 その他の副腎ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	2473 エストラジオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2473 エストラジオール系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2473 エストラジオール系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	2475 エストリオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2475 エストリオール系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2475 エストリオール系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	2478 合成黄体ホルモン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2478 合成黄体ホルモン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2478 合成黄体ホルモン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:5.9 2022年1～9月累積:1.6 最大減少幅:-13.9</p>
82	248 混合ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:248 混合ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:248 混合ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:60.0 2022年1～9月累積:54.9 最大減少幅:8.5</p>
83	2491 循環ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2491 循環ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2491 循環ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:0.5 2022年1～9月累積:1.8 最大減少幅:-15.8</p>
84	2492 すい臓ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2492 すい臓ホルモン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2492 すい臓ホルモン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-1.6 2022年1～9月累積:-2.6 最大減少幅:-5.8</p>
85	2499 他に分類されないホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2499 他に分類されないホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2499 他に分類されないホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:103.1 2022年1～9月累積:92.8 最大減少幅:0.1</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	252 生殖器官用剤 (性病予防剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:252 生殖器官用剤(性病予防剤を含む。) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:252 生殖器官用剤(性病予防剤を含む。) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	253 子宮収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:253 子宮収縮剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:253 子宮収縮剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	255 痔疾用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:255 痔疾用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:255 痔疾用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	259 その他の泌尿生殖器官及び 肛門用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	261 外皮用殺菌消毒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:261 外皮用殺菌消毒剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:261 外皮用殺菌消毒剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	263 化膿性疾患用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 263 化膿性疾患用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 263 化膿性疾患用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 4.4 2022年1～9月累積: 5.1 最大減少幅: -12.1</p>
92	264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -1.3 2022年1～9月累積: -5.1 最大減少幅: -19.3</p>
93	265 寄生性皮膚疾患用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 265 寄生性皮膚疾患用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 265 寄生性皮膚疾患用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -10.7 2022年1～9月累積: -7.5 最大減少幅: -13.3</p>
94	266 皮膚軟化剤 (腐しよく剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 266 皮膚軟化剤 (腐しよく剤を含む。) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 266 皮膚軟化剤 (腐しよく剤を含む。) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -6.3 2022年1～9月累積: -4.5 最大減少幅: -10.7</p>
95	267 毛髪用剤 (発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 267 毛髪用剤 (発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 267 毛髪用剤 (発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.2 2022年1～9月累積: 13.5 最大減少幅: -9.0</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	269 その他の外皮用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:269 その他の外皮用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:269 その他の外皮用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:48.2 2022年1～9月累積:45.9 最大減少幅:-0.5</p>
97	290 その他の個々の器官系医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:290 その他の個々の器官系医薬品 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:290 その他の個々の器官系医薬品 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:14.5 2022年1～9月累積:12.5 最大減少幅:-10.8</p>
98	3111 合成ビタミンA製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3111 合成ビタミンA製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3111 合成ビタミンA製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-8.6 2022年1～9月累積:-8.7 最大減少幅:-20.9</p>
99	3112 合成ビタミンD製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3112 合成ビタミンD製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3112 合成ビタミンD製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:14.5 2022年1～9月累積:9.0 最大減少幅:-9.5</p>
100	3119 その他のビタミンA及びD剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3119 その他のビタミンA及びD剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3119 その他のビタミンA及びD剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-1.3 2022年1～9月累積:-4.2 最大減少幅:-16.5</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
101	312 ビタミンB1 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:312 ビタミンB1剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:312 ビタミンB1剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:2.6 2022年1～9月累積:-0.1 最大減少幅:-14.5</p>
102	3131 ビタミンB 2剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3131 ビタミンB2剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3131 ビタミンB2剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-63.7 2022年1～9月累積:-61.6 最大減少幅:-66.6</p>
103	3133 パントテン 酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3133 パントテン酸系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3133 パントテン酸系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-7.7 2022年1～9月累積:-9.7 最大減少幅:-14.0</p>
104	3134 ビタミンB 6剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3134 ビタミンB6剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3134 ビタミンB6剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-24.7 2022年1～9月累積:-21.7 最大減少幅:-29.1</p>
105	3135 葉酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3135 葉酸製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3135 葉酸製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:15.2 2022年1～9月累積:9.0 最大減少幅:-9.6</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
106	3136 ビタミンB12剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3136 ビタミンB12剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3136 ビタミンB12剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
107	314 ビタミンC剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 314 ビタミンC剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 314 ビタミンC剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
108	315 ビタミンE剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 315 ビタミンE剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 315 ビタミンE剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
109	316 ビタミンK剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 316 ビタミンK剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 316 ビタミンK剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
110	3179 その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3179 その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3179 その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
111	319 その他のビタミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 319 その他のビタミン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 319 その他のビタミン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
112	321 カルシウム剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 321 カルシウム剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 321 カルシウム剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
113	322 無機質製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 322 無機質製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 322 無機質製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
114	323 糖類剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 323 糖類剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 323 糖類剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
115	325 たん白アミノ酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 325 たん白アミノ酸製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 325 たん白アミノ酸製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
116	327 乳幼児用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:327 乳幼児用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:327 乳幼児用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.5 2022年1～9月累積:3.2 最大減少幅:-22.4</p>
117	331 血液代用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:331 血液代用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:331 血液代用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-14.2 2022年1～9月累積:-21.2 最大減少幅:-49.7</p>
118	3321 カルバゾクロム系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3321 カルバゾクロム系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3321 カルバゾクロム系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-4.1 2022年1～9月累積:-6.9 最大減少幅:-21.6</p>
119	3327 抗プラスミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3327 抗プラスミン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3327 抗プラスミン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-36.1 2022年1～9月累積:-21.6 最大減少幅:-71.8</p>
120	3332 ジクマロール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3332 ジクマロール系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3332 ジクマロール系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-15.9 2022年1～9月累積:-18.6 最大減少幅:-21.4</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
121	3334 ヘパリン製剤	<p>【医科・調剤】薬効分類別:3334 ヘパリン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】薬効分類別:3334 ヘパリン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:12.0 2022年1～9月累積:12.3 最大減少幅:0.2</p>
122	3339 その他の血液凝固阻止剤	<p>【医科・調剤】薬効分類別:3339 その他の血液凝固阻止剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】薬効分類別:3339 その他の血液凝固阻止剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:11.0 2022年1～9月累積:6.9 最大減少幅:-8.9</p>
123	339 その他の血液・体液用薬	<p>【医科・調剤】薬効分類別:339 その他の血液・体液用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】薬効分類別:339 その他の血液・体液用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:0.8 2022年1～9月累積:-1.0 最大減少幅:-8.6</p>
124	342 腹膜透析用剤	<p>【医科・調剤】薬効分類別:342 腹膜透析用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】薬効分類別:342 腹膜透析用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:15.9 2022年1～9月累積:10.1 最大減少幅:-2.9</p>
125	391 肝臓疾患用剤	<p>【医科・調剤】薬効分類別:391 肝臓疾患用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】薬効分類別:391 肝臓疾患用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-1.3 2022年1～9月累積:-0.9 最大減少幅:-12.9</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
126	392 解毒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:392 解毒剤 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:392 解毒剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 40.2 2022年1~9月累積: 39.2 最大減少幅: -1.7</p>
127	393 習慣性中毒用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:393 習慣性中毒用剤 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:393 習慣性中毒用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -11.2 2022年1~9月累積: -11.5 最大減少幅: -21.1</p>
128	394 痛風治療剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:394 痛風治療剤 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:394 痛風治療剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 8.6 2022年1~9月累積: 9.8 最大減少幅: -5.1</p>
129	395 酵素製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:395 酵素製剤 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:395 酵素製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -70.6 2022年1~9月累積: -70.6 最大減少幅: -80.1</p>
130	3961 スルフォニル尿素系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3961 スルフォニル尿素系製剤 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3961 スルフォニル尿素系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -15.7 2022年1~9月累積: -15.8 最大減少幅: -18.4</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
131	3962 ビグアナイド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3962 ビグアナイド系製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3962 ビグアナイド系製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
132	3969 その他の糖尿病用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3969 その他の糖尿病用剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3969 その他の糖尿病用剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
133	3992 アデノシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3992 アデノシン製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3992 アデノシン製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
134	3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
135	421 アルキル化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 421 アルキル化剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 421 アルキル化剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

## 医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
136	422 代謝拮抗剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:422 代謝拮抗剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:422 代謝拮抗剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.2 2022年1～9月累積: 0.8 最大減少幅: -10.9</p>
137	429 その他の腫瘍用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:429 その他の腫瘍用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:429 その他の腫瘍用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 42.3 2022年1～9月累積: 31.7 最大減少幅: -5.1</p>
138	441 抗ヒスタミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:441 抗ヒスタミン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:441 抗ヒスタミン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -40.7 2022年1～9月累積: -46.3 最大減少幅: -72.8</p>
139	442 刺激療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:442 刺激療法剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:442 刺激療法剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -33.7 2022年1～9月累積: -35.1 最大減少幅: -38.2</p>
140	449 その他のアレルギー用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:449 その他のアレルギー用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:449 その他のアレルギー用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -12.0 2022年1～9月累積: -17.8 最大減少幅: -38.3</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
141	510 生薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:510 生薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:510 生薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -8.6 2022年1～9月累積: -10.0 最大減少幅: -18.0</p>
142	520 漢方製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:520 漢方製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:520 漢方製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.3 2022年1～9月累積: -0.3 最大減少幅: -36.0</p>
143	590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -13.0 2022年1～9月累積: -10.9 最大減少幅: -15.2</p>
144	611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:611 主としてグラム陽性菌に作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:611 主としてグラム陽性菌に作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -39.5 2022年1～9月累積: -36.4 最大減少幅: -42.4</p>
145	612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:612 主としてグラム陰性菌に作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:612 主としてグラム陰性菌に作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -67.9 2022年1～9月累積: -63.2 最大減少幅: -67.9</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
146	613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
147	614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
148	615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
149	616 主として抗酸菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:616 主として抗酸菌に作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:616 主として抗酸菌に作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
150	617 主としてカビに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:617 主としてカビに作用するもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:617 主としてカビに作用するもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
151	619 その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:619 その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:619 その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -23.0 2022年1～9月累積: -22.4 最大減少幅: -53.4</p>
152	621 サルファ剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:621 サルファ剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:621 サルファ剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 6.6 2022年1～9月累積: 3.4 最大減少幅: -10.2</p>
153	622 抗結核剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:622 抗結核剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:622 抗結核剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -12.5 2022年1～9月累積: -18.1 最大減少幅: -25.7</p>
154	624 合成抗菌剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:624 合成抗菌剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:624 合成抗菌剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -50.1 2022年1～9月累積: -51.2 最大減少幅: -65.0</p>
155	625 抗ウイルス剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:625 抗ウイルス剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:625 抗ウイルス剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -15.6 2022年1～9月累積: -80.6 最大減少幅: -96.4</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
156	629 その他の化学療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:629 その他の化学療法剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:629 その他の化学療法剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -4.0 2022年1～9月累積: -1.7 最大減少幅: -15.0</p>
157	639 その他の生物学的製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:639 その他の生物学的製剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:639 その他の生物学的製剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 29.7 2022年1～9月累積: 24.9 最大減少幅: -3.7</p>
158	641 抗原虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:641 抗原虫剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:641 抗原虫剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 21.7 2022年1～9月累積: 16.2 最大減少幅: -18.5</p>
159	642 駆虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:642 駆虫剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:642 駆虫剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 27.2 2022年1～9月累積: 14.9 最大減少幅: -20.1</p>
160	711 賦形剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:711 賦形剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:711 賦形剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -15.8 2022年1～9月累積: -23.2 最大減少幅: -41.9</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
161	712 軟膏基剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 712 軟膏基剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 712 軟膏基剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 0.0 2022年1～9月累積: -6.1 最大減少幅: -15.2</p>
162	713 溶解剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 713 溶解剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 713 溶解剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -23.5 2022年1～9月累積: -30.9 最大減少幅: -46.7</p>
163	714 矯味, 矯臭, 着色剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 714 矯味, 矯臭, 着色剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 714 矯味, 矯臭, 着色剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -20.0 2022年1～9月累積: -27.1 最大減少幅: -67.9</p>
164	719 その他の調剤用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 719 その他の調剤用薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 719 その他の調剤用薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -8.6 2022年1～9月累積: -12.3 最大減少幅: -52.7</p>
165	799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -65.5 2022年1～9月累積: -66.3 最大減少幅: -69.7</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
166	811 あへんアルカロイド系麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:811 あへんアルカロイド系麻薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:811 あへんアルカロイド系麻薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
167	821 合成麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:821 合成麻薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:821 合成麻薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 これまで処方ルールの見直し・明確化の提言の対象となった医薬品 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	ビタミン剤	<p>【医科・調剤】ビタミン剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】ビタミン剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	湿布薬	<p>【医科・調剤】湿布薬 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】湿布薬 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	保湿剤	<p>【医科・調剤】保湿剤 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】保湿剤 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	保湿剤 単剤処方	<p>【医科・調剤】保湿剤 単剤処方 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>【医科・調剤】保湿剤 単剤処方 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	D000～D004 尿・糞便等検査	<p>[医科] 診療行為別: D000～D004 尿・糞便等検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D000～D004 尿・糞便等検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -5.4 2022年1～9月累積: -7.9 最大減少幅: -25.2</p>
2	D005～D006 血液学的検査	<p>[医科] 診療行為別: D005～D006 血液学的検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D005～D006 血液学的検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 4.6 2022年1～9月累積: 0.6 最大減少幅: -22.7</p>
3	D007～D007 生化学的検査(1)	<p>[医科] 診療行為別: D007～D007 生化学的検査(1) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D007～D007 生化学的検査(1) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.2 2022年1～9月累積: 5.4 最大減少幅: -19.2</p>
4	D008～D010 生化学的検査(2)	<p>[医科] 診療行為別: D008～D010 生化学的検査(2) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D008～D010 生化学的検査(2) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 22.1 2022年1～9月累積: 15.3 最大減少幅: -24.1</p>
5	D011～D016 免疫学的検査	<p>[医科] 診療行為別: D011～D016 免疫学的検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D011～D016 免疫学的検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 4.0 2022年1～9月累積: -14.4 最大減少幅: -77.7</p>

# 時系列グラフ

## 医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	D017～D024 微生物学的検査	<p>[医科] 診療行為別: D017～D024 微生物学的検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D017～D024 微生物学的検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
7	D200～D214 呼吸循環機能検査等	<p>[医科] 診療行為別: D200～D214 呼吸循環機能検査等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D200～D214 呼吸循環機能検査等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
8	D215～D217 超音波検査等	<p>[医科] 診療行為別: D215～D217 超音波検査等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D215～D217 超音波検査等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
9	D218～D234 監視装置による諸検査	<p>[医科] 診療行為別: D218～D234 監視装置による諸検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D218～D234 監視装置による諸検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
10	D235～D238 脳波検査等	<p>[医科] 診療行為別: D235～D238 脳波検査等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D235～D238 脳波検査等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>



# 時系列グラフ

## 医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	D239～D242 神経・筋検査	<p>[医科] 診療行為別: D239～D242 神経・筋検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D239～D242 神経・筋検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.6 2022年1～9月累積: 3.0 最大減少幅: -30.7</p>
12	D243～D254 耳鼻咽喉科学的検査	<p>[医科] 診療行為別: D243～D254 耳鼻咽喉科学的検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D243～D254 耳鼻咽喉科学的検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -6.0 2022年1～9月累積: -9.5 最大減少幅: -38.5</p>
13	D255～D282 眼科学的検査	<p>[医科] 診療行為別: D255～D282 眼科学的検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D255～D282 眼科学的検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.4 2022年1～9月累積: -4.9 最大減少幅: -43.9</p>
14	D283～D285 臨床心理・神経心理検査	<p>[医科] 診療行為別: D283～D285 臨床心理・神経心理検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D283～D285 臨床心理・神経心理検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 28.8 2022年1～9月累積: 18.0 最大減少幅: -25.1</p>
15	D286～D291 負荷試験等	<p>[医科] 診療行為別: D286～D291 負荷試験等 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D286～D291 負荷試験等 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -9.2 2022年1～9月累積: -16.8 最大減少幅: -27.2</p>

# 時系列グラフ

## 医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	D295～D325 内視鏡検査	<p>[医科] 診療行為別: D295～D325 内視鏡検査 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: D295～D325 内視鏡検査 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -3.9 2022年1～9月累積: -7.2 最大減少幅: -43.1</p>
17	E002～E004 エックス線	<p>[医科] 診療行為別: E002～E004 エックス線 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: E002～E004 エックス線 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -5.9 2022年1～9月累積: -9.7 最大減少幅: -34.9</p>
18	E100～E101 核医学	<p>[医科] 診療行為別: E100～E101 核医学 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: E100～E101 核医学 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.2 2022年1～9月累積: -3.2 最大減少幅: -24.1</p>
19	E200～E203 コンピューター断層撮影	<p>[医科] 診療行為別: E200～E203 コンピューター断層撮影 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: E200～E203 コンピューター断層撮影 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 11.0 2022年1～9月累積: 5.9 最大減少幅: -24.6</p>
20	G000～G018 注射	<p>[医科] 診療行為別: G000～G018 注射 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: G000～G018 注射 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -3.0 2022年1～9月累積: -10.1 最大減少幅: -27.9</p>

時系列グラフ

医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	H000～H008 リハビリテーション	<p>[医科] 診療行為別: H000～H008 リハビリテーション 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: H000～H008 リハビリテーション 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	I000～I008 精神科専門療法	<p>[医科] 診療行為別: I000～I008 精神科専門療法 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: I000～I008 精神科専門療法 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	J000～J043 一般処置	<p>[医科] 診療行為別: J000～J043 一般処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J000～J043 一般処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	J053～J057 皮膚科処置	<p>[医科] 診療行為別: J053～J057 皮膚科処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J053～J057 皮膚科処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	J058～J070 泌尿器科処置	<p>[医科] 診療行為別: J058～J070 泌尿器科処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J058～J070 泌尿器科処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	J071～J085 産婦人科処置	<p>[医科] 診療行為別: J071～J085 産婦人科処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J071～J085 産婦人科処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -1.9 2022年1～9月累積: -6.5 最大減少幅: -16.8</p>
27	J086～J094 眼科処置	<p>[医科] 診療行為別: J086～J094 眼科処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J086～J094 眼科処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -1.7 2022年1～9月累積: -4.2 最大減少幅: -27.2</p>
28	J095～J115 耳鼻咽喉科処置	<p>[医科] 診療行為別: J095～J115 耳鼻咽喉科処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J095～J115 耳鼻咽喉科処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -38.6 2022年1～9月累積: -43.3 最大減少幅: -63.8</p>
29	J116～J119 整形外科的処置	<p>[医科] 診療行為別: J116～J119 整形外科的処置 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: J116～J119 整形外科的処置 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: -4.1 2022年1～9月累積: -7.6 最大減少幅: -29.6</p>
30	K000～K022 皮膚・皮下組織	<p>[医科] 診療行為別: K000～K022 皮膚・皮下組織 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K000～K022 皮膚・皮下組織 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月: 7.1 2022年1～9月累積: 1.5 最大減少幅: -16.3</p>

時系列グラフ

医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	K023～K144 筋骨格系・四肢・体幹	<p>[医科] 診療行為別: K023～K144 筋骨格系・四肢・体幹 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K023～K144 筋骨格系・四肢・体幹 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -1.9 2022年1～9月累積: -7.4 最大減少幅: -29.5</p>
32	K199～K284 眼	<p>[医科] 診療行為別: K199～K284 眼 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K199～K284 眼 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.5 2022年1～9月累積: 12.4 最大減少幅: -11.7</p>
33	K285～K403 耳鼻咽喉	<p>[医科] 診療行為別: K285～K403 耳鼻咽喉 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K285～K403 耳鼻咽喉 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -20.3 2022年1～9月累積: -26.3 最大減少幅: -37.5</p>
34	K472～K537 胸部	<p>[医科] 診療行為別: K472～K537 胸部 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K472～K537 胸部 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 8.2 2022年1～9月累積: 9.8 最大減少幅: -24.2</p>
35	K538～K628 心・脈管	<p>[医科] 診療行為別: K538～K628 心・脈管 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K538～K628 心・脈管 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.0 2022年1～9月累積: -0.2 最大減少幅: -19.5</p>

# 時系列グラフ

## 医科 診療行為別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	K629～K753 腹部	<p>[医科] 診療行為別: K629～K753 腹部 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K629～K753 腹部 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波</p> <p>第5波</p> <p>第6波</p> <p>第7波</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 28.5 2022年1～9月累積: 27.2 最大減少幅: -30.9</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>
37	K754～K823 尿路系・副腎	<p>[医科] 診療行為別: K754～K823 尿路系・副腎 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K754～K823 尿路系・副腎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波</p> <p>第5波</p> <p>第6波</p> <p>第7波</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 21.1 2022年1～9月累積: 14.0 最大減少幅: -15.6</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>
38	K824～K913 性器	<p>[医科] 診療行為別: K824～K913 性器 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] 診療行為別: K824～K913 性器 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波</p> <p>第5波</p> <p>第6波</p> <p>第7波</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 332.8 2022年1～9月累積: 201.8 最大減少幅: -30.0</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 全体・年齢階級別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
1	全体	<p><b>[医科・調剤] 全体</b> 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線            四分位範囲            中央値            平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
2	0~14歳	<p><b>[医科・調剤] 年齢階級別:0~14歳</b> 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線            四分位範囲            中央値            平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
3	15~39歳	<p><b>[医科・調剤] 年齢階級別:15~39歳</b> 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線            四分位範囲            中央値            平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
4	40~64歳	<p><b>[医科・調剤] 年齢階級別:40~64歳</b> 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線            四分位範囲            中央値            平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
1	1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
2	1123 抱水クロラール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1123 抱水クロラール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
3	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1124 ベンゾジアゼピン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
4	1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
5	1126 ブロム塩製剤；臭化カリウム等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1126 ブロム塩製剤；臭化カリウム等 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
6	1129 その他の催眠鎮静剤, 抗不安剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1129 その他の催眠鎮静剤, 抗不安剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
7	1131 フェナセミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1131 フェナセミド系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
8	1132 ヒダントイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1132 ヒダントイン系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
9	1133 オキサゾリジン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1133 オキサゾリジン系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
10	1135 プリミドン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1135 プリミドン系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
11	1137 スルホンアミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1137 スルホンアミド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
12	1139 その他の抗てんかん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1139 その他の抗てんかん剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
13	1141 アニリン系製剤; メフェナム酸, フルフェナム酸等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1141 アニリン系製剤; メフェナム酸, フルフェナム酸等 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
14	1143 サリチル酸系製剤; アスピリン等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1143 サリチル酸系製剤; アスピリン等 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
15	1144 ピラゾロン系製剤; アンチピリン, スルピリン等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1144 ピラゾロン系製剤; アンチピリン, スルピリン等 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

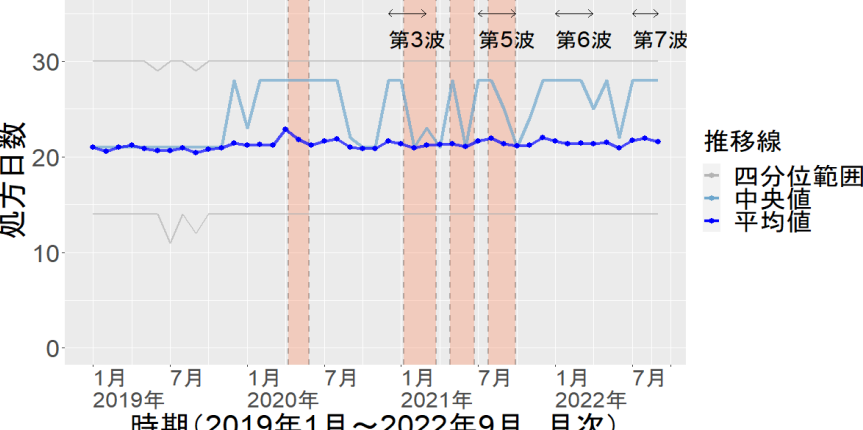
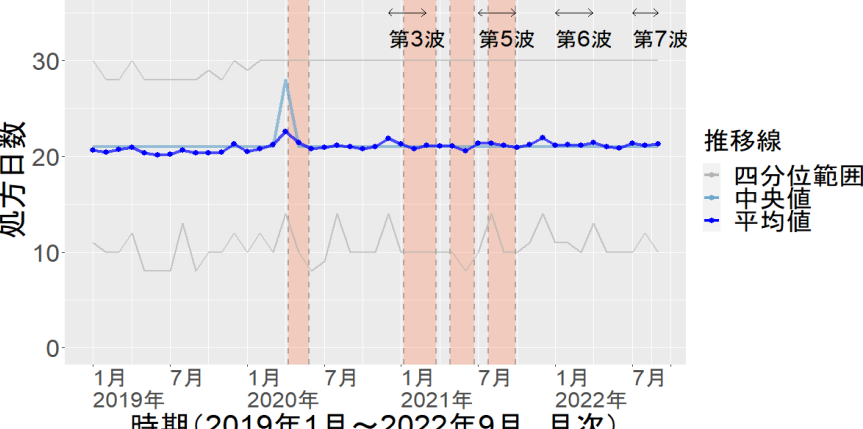
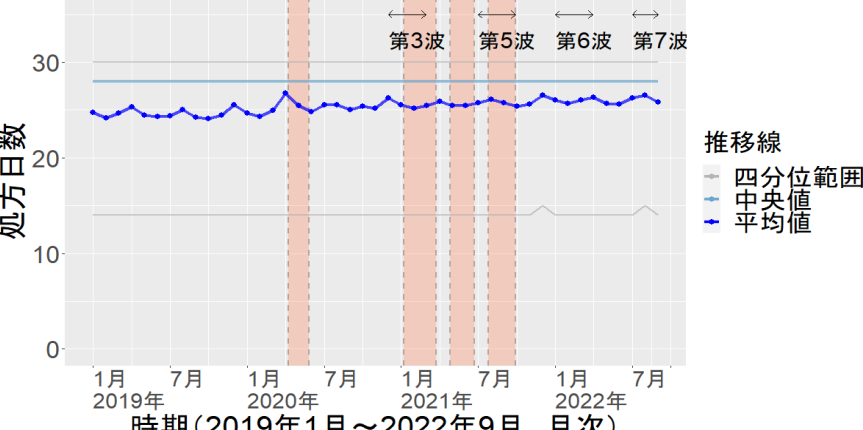
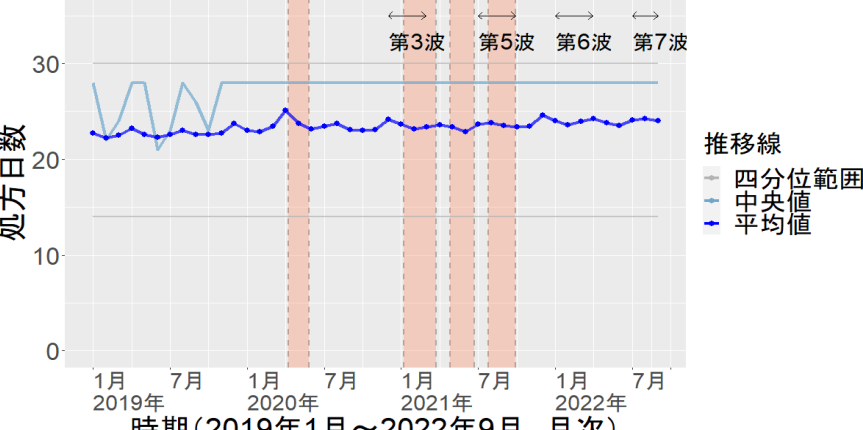
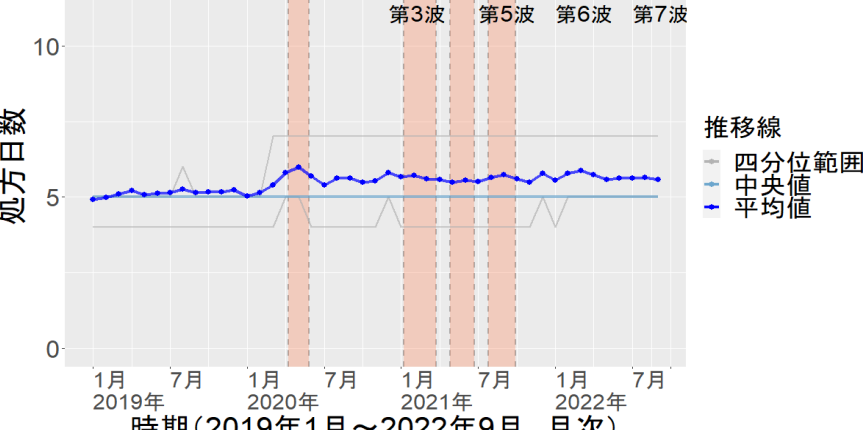
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
16	1145 インドメタシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1145 インドメタシン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
17	1147 フェニル酢酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1147 フェニル酢酸系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
18	1148 塩基性消炎鎮痛剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1148 塩基性消炎鎮痛剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
19	1149 その他の解熱鎮痛消炎剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
20	116 抗パーキンソン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 116 抗パーキンソン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
21	1171 クロルプロマジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1171 クロルプロマジン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
22	1172 フェノチアジン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1172 フェノチアジン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
23	1174 イミプラミン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1174 イミプラミン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
24	1179 その他の精神神経用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1179 その他の精神神経用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
25	118 総合感冒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 118 総合感冒剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

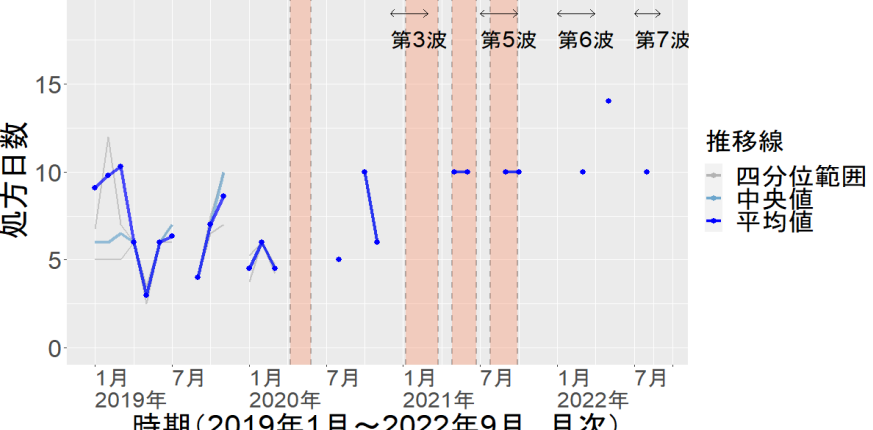
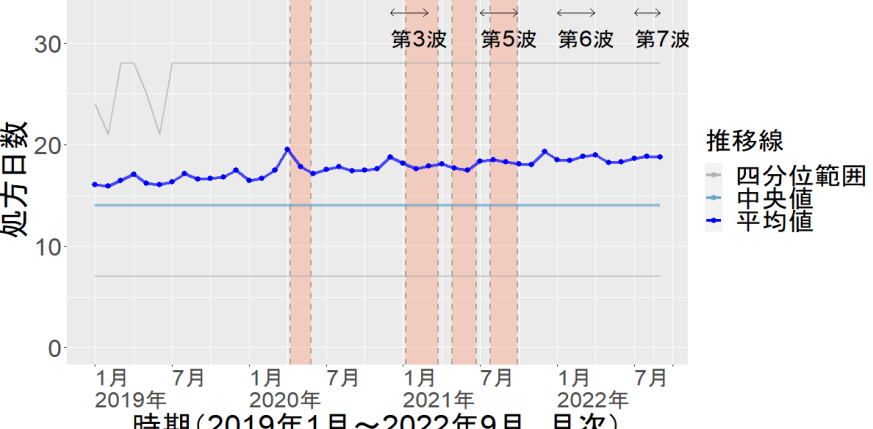
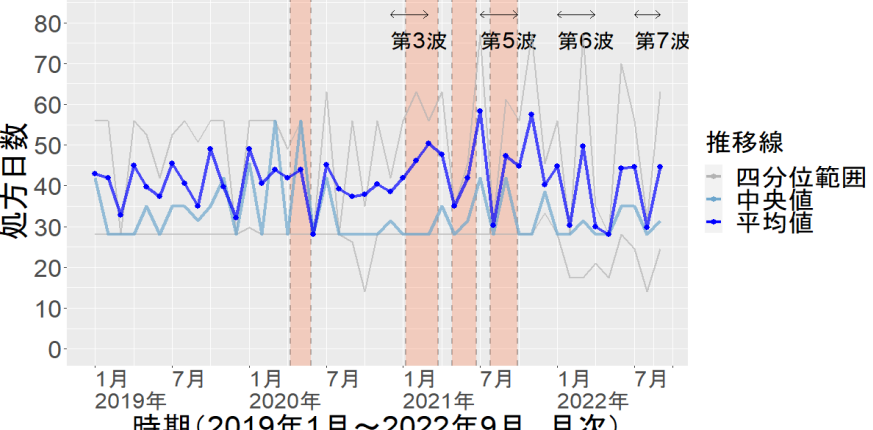
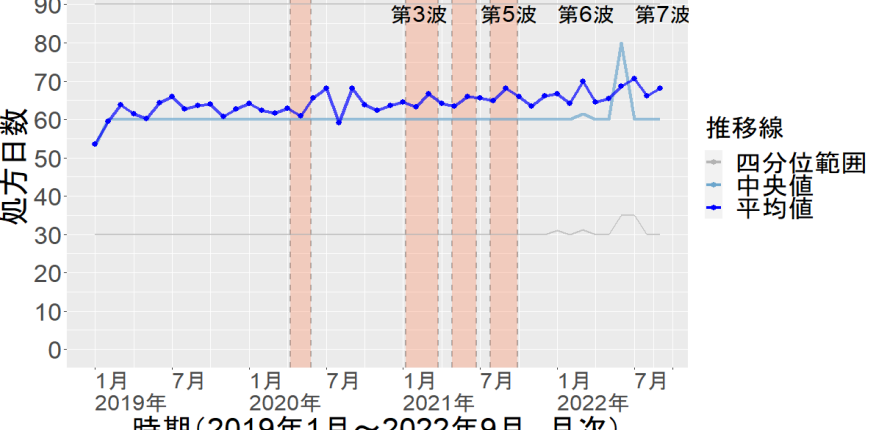
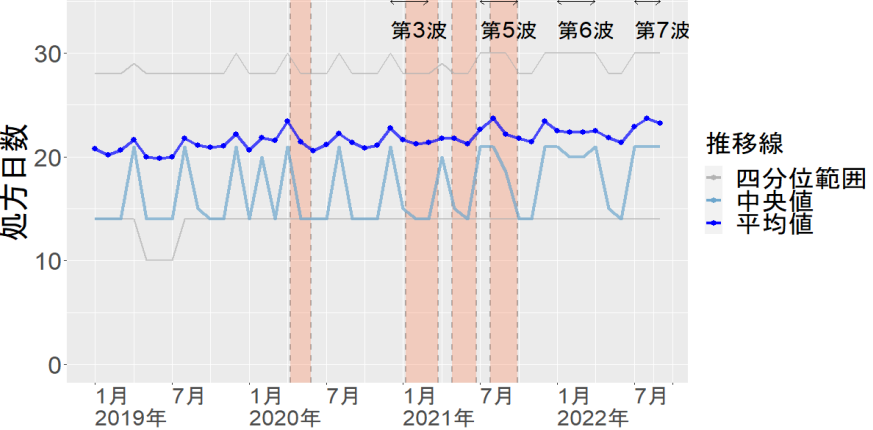
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
26	119 その他の中枢神経系用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 119 その他の中枢神経系用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
27	121 局所麻酔剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 121 局所麻酔剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
28	122 骨格筋弛緩剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 122 骨格筋弛緩剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
29	123 自律神経剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 123 自律神経剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
30	1242 アトロピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1242 アトロピン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
31	1243 パパペリン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1243 パパペリン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
32	1249 その他の鎮けい剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1249 その他の鎮けい剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
33	129 その他の末梢神経系用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 129 その他の末梢神経系用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
34	131 眼科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 131 眼科用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
35	132 耳鼻科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 132 耳鼻科用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
36	133 鎮暈剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 133 鎮暈剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
37	2113 ジギタリス製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2113 ジギタリス製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
38	2115 カフェイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2115 カフェイン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
39	2119 その他の強心剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2119 その他の強心剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
40	2121 プロカインアミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2121 プロカインアミド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
41	2122 キニジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2122 キニジン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
42	2123 $\beta$ -遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2123 <math>\beta</math>-遮断剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
43	2129 その他の不整脈用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2129 その他の不整脈用剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
44	213 利尿剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:213 利尿剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
45	2142 ヒドララジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2142 ヒドララジン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



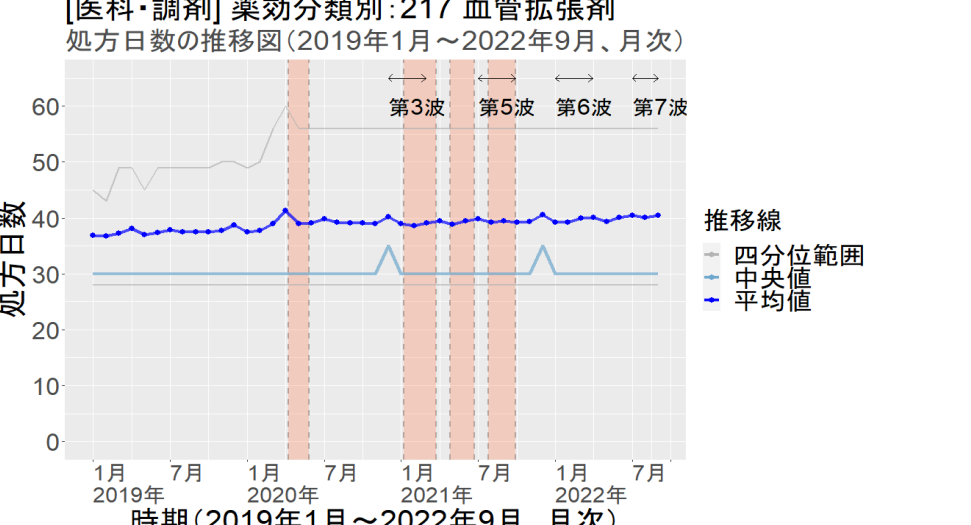
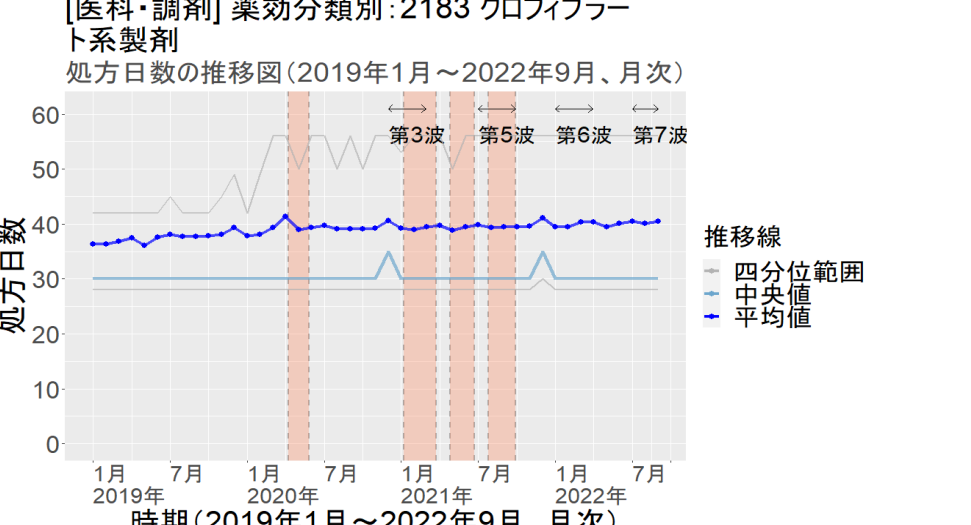
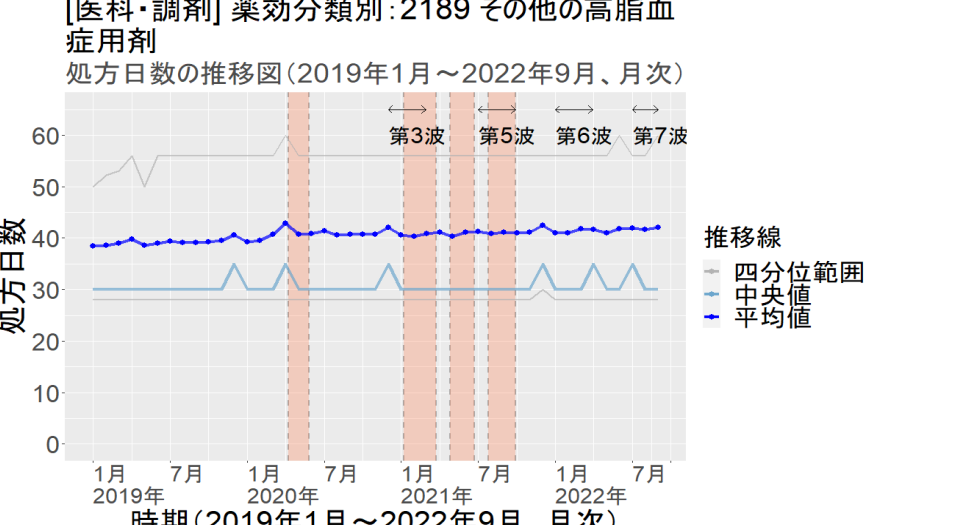
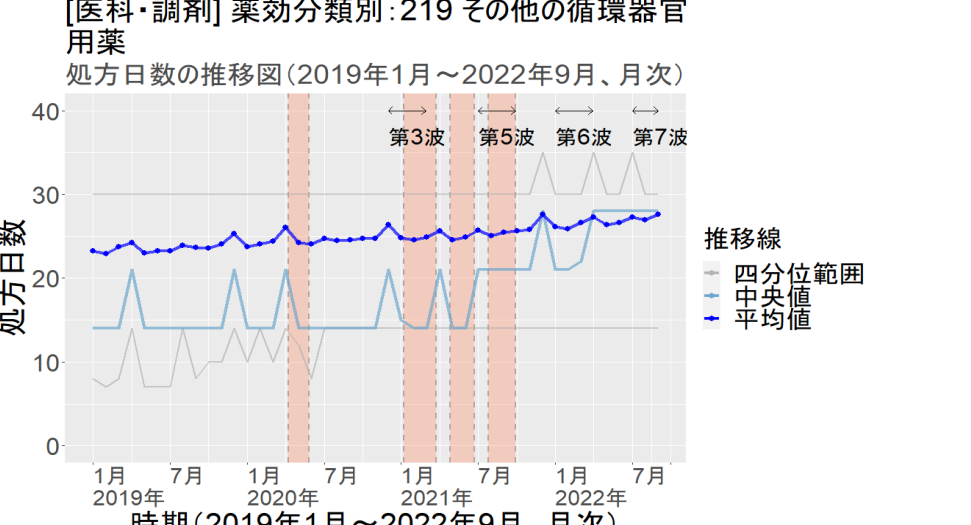
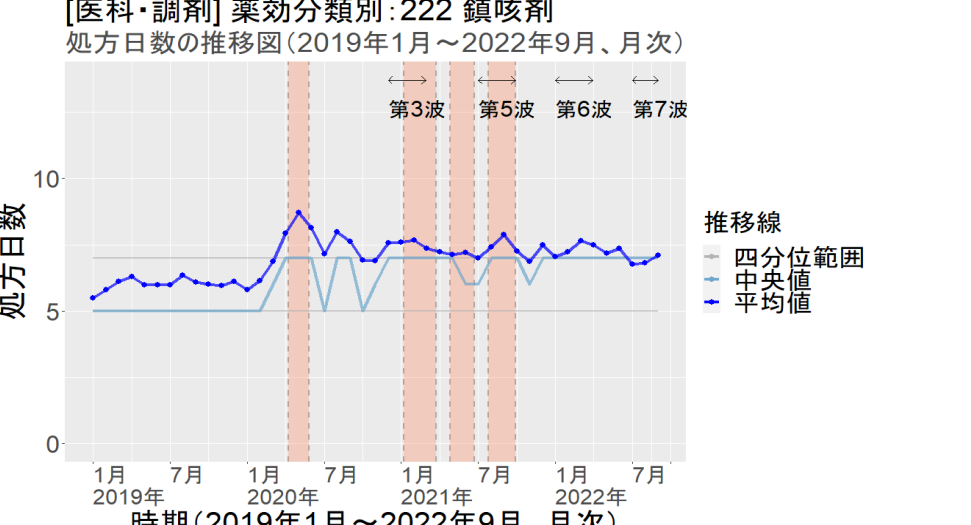
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
46	2143 ラウオルフィア製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2143 ラウオルフィア製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
47	2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
48	2145 メチルドパ製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2145 メチルドパ製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
49	2149 その他の血圧降下剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2149 その他の血圧降下剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
50	216 血管収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:216 血管収縮剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
51	217 血管拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:217 血管拡張剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
52	2183 クロフィブラート系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2183 クロフィブラート系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
53	2189 その他の高脂血症用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2189 その他の高脂血症用剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
54	219 その他の循環器官用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:219 その他の循環器官用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
55	222 鎮咳剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:222 鎮咳剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
56	2231 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2231 植物性製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
57	2232 アンモニウム塩製剤； アンモニアウイキョウ精， 塩化アンモニウム等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2232 アンモニウム塩製剤；アンモニアウイキョウ精，塩化アンモニウム等 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
58	2233 シス테인系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2233 シス테인系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
59	2234 ブロムヘキシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2234 ブロムヘキシン製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
60	2239 その他の去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2239 その他の去たん剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
61	2241 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2241 植物性製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
62	2242 コデイン系製剤 (家庭麻薬)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2242 コデイン系製剤 (家庭麻薬) 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
63	2249 その他の鎮咳去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2249 その他の鎮咳去たん剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
64	2251 キサンチン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2251 キサンチン系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
65	2252 イソプレナリン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2252 イソプレナリン系製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
66	2254 サルブタモール製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2254 サルブタモール製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
67	2259 その他の気管支拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2259 その他の気管支拡張剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
68	229 その他の呼吸器用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:229 その他の呼吸器用薬 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
69	231 止しゃ剤, 整腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:231 止しゃ剤, 整腸剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
70	2321 メチルメチオニン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2321 メチルメチオニン製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

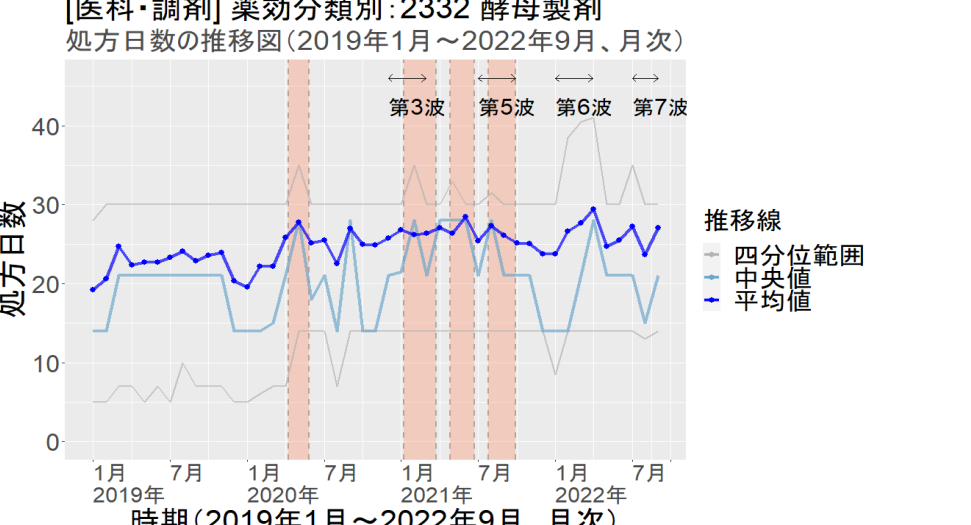
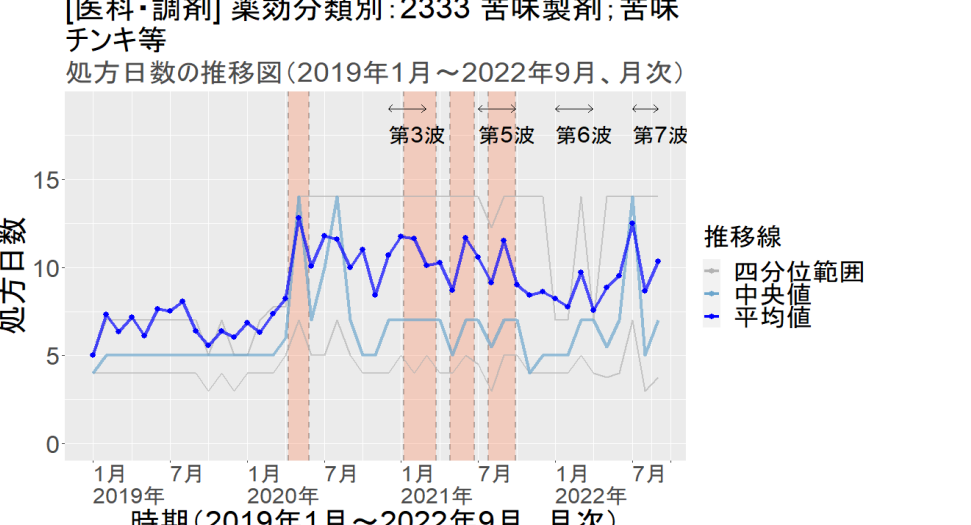
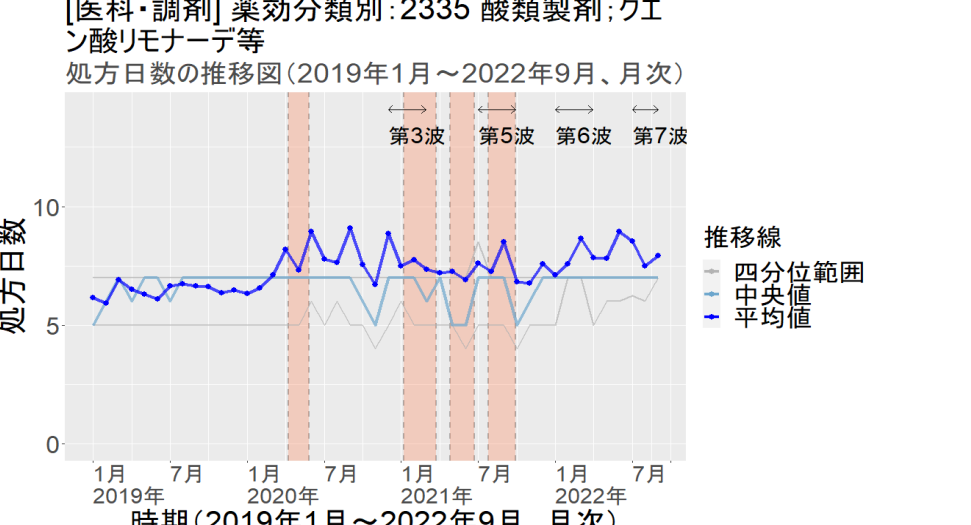
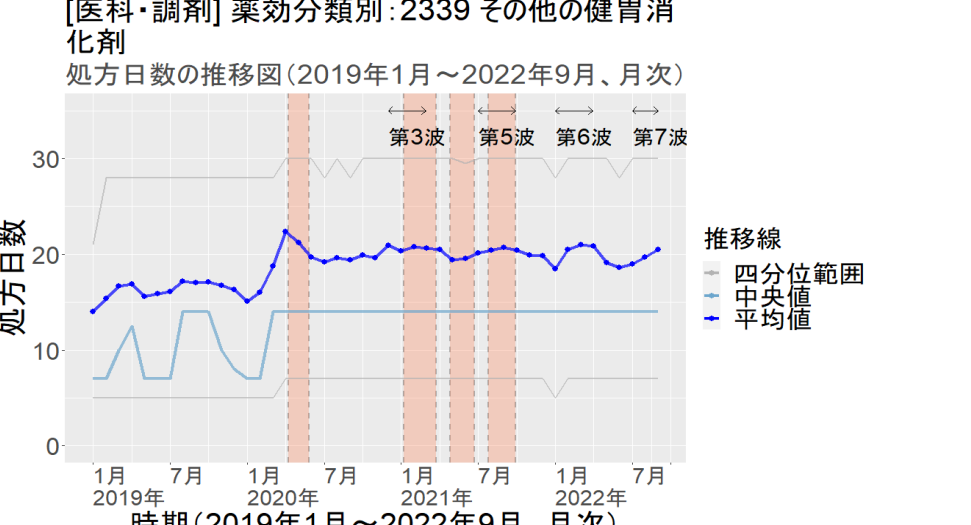
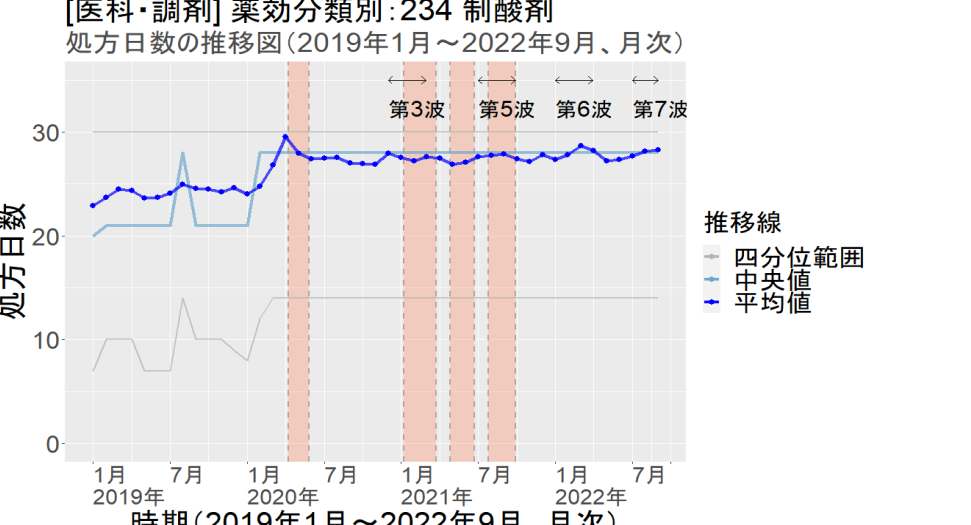
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
71	2322 グルタミン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2322 グルタミン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
72	2323 アズレン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2323 アズレン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
73	2325 H2遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2325 H2遮断剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
74	2329 その他の消化性潰瘍用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2329 その他の消化性潰瘍用剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
75	2331 消化酵素製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2331 消化酵素製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
76	2332 酵母製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2332 酵母製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
77	2333 苦味製剤；苦味チンキ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2333 苦味製剤；苦味チンキ等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
78	2335 酸類製剤；クエン酸リモナーデ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2335 酸類製剤；クエン酸リモナーデ等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
79	2339 その他の健胃消化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2339 その他の健胃消化剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
80	234 制酸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:234 制酸剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

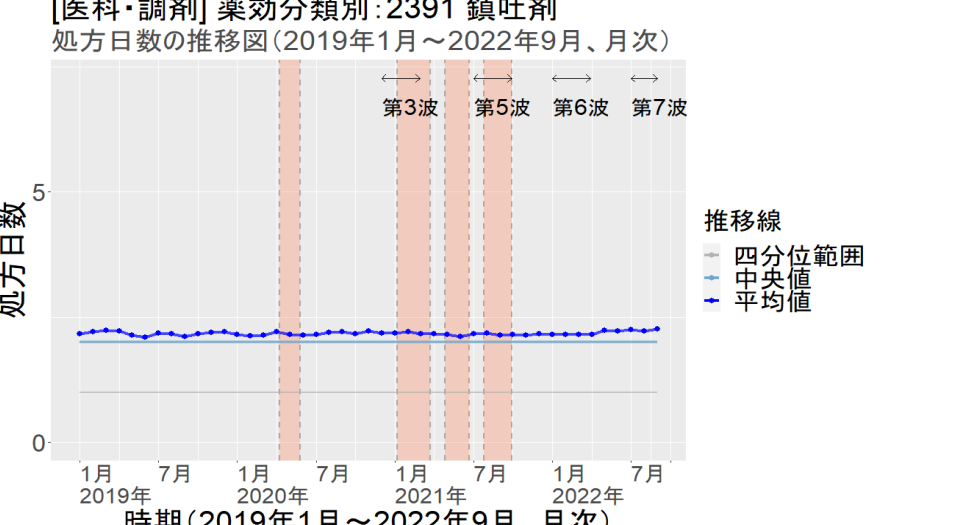
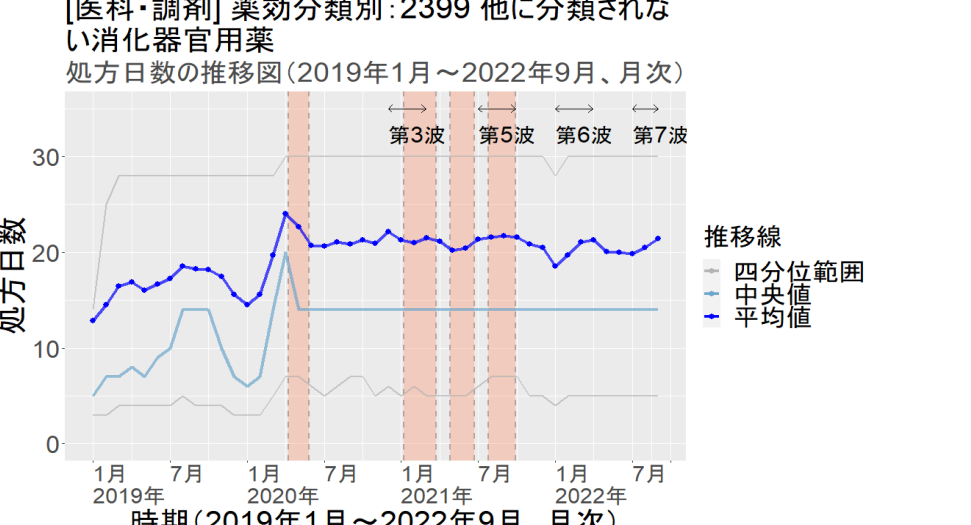
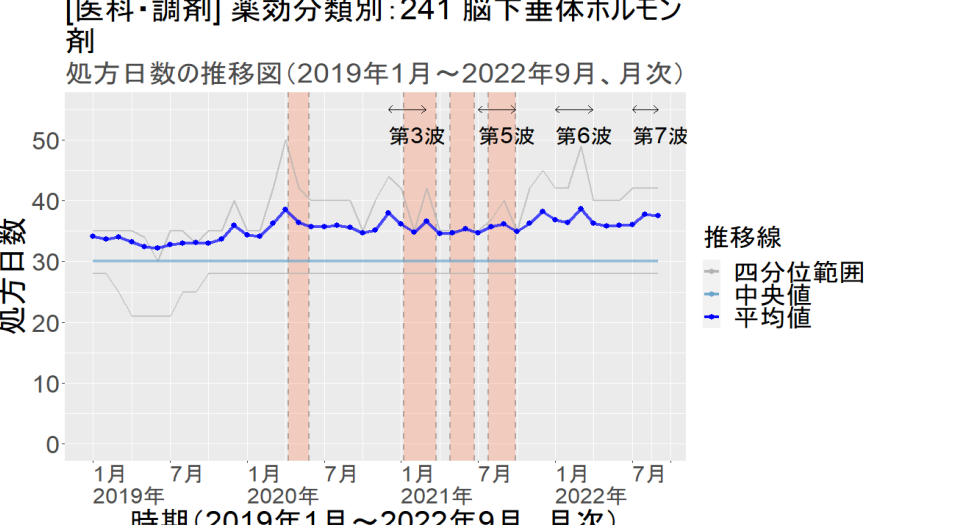
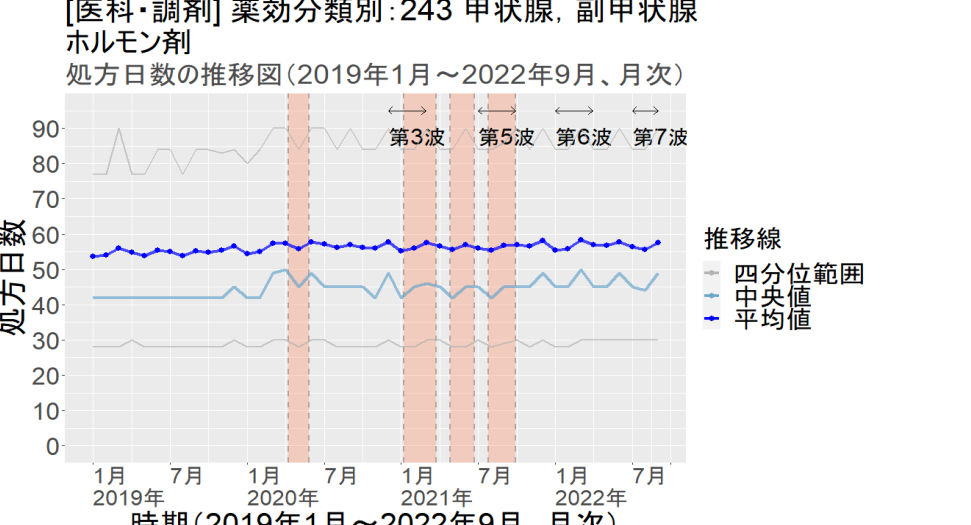
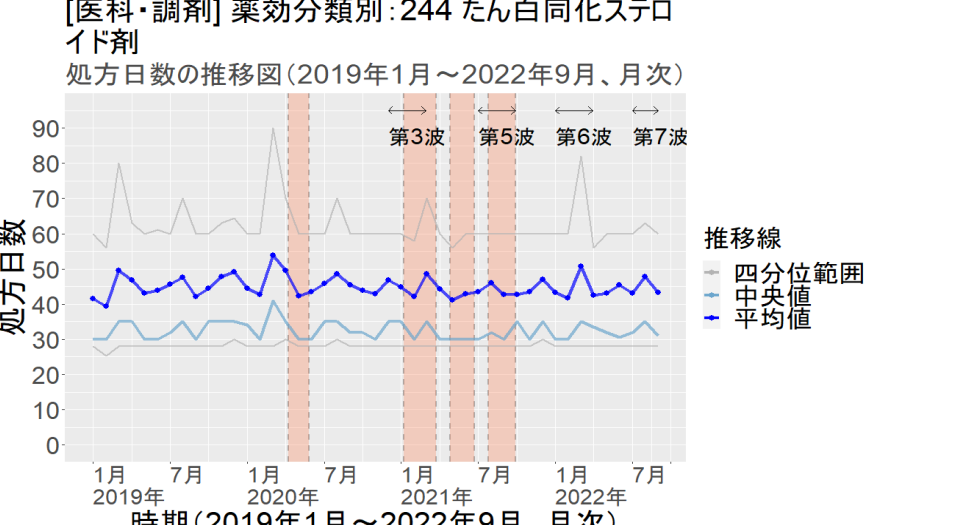
医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
81	2354 植物性製剤；センナ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2354 植物性製剤；センナ等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
82	2355 無機塩製剤；硫酸マグネシウム等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2355 無機塩製剤；硫酸マグネシウム等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
83	2356 油脂製剤；ヒマシ油等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2356 油脂製剤；ヒマシ油等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
84	2359 その他の下剤，浣腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2359 その他の下剤，浣腸剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
85	236 利胆剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:236 利胆剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



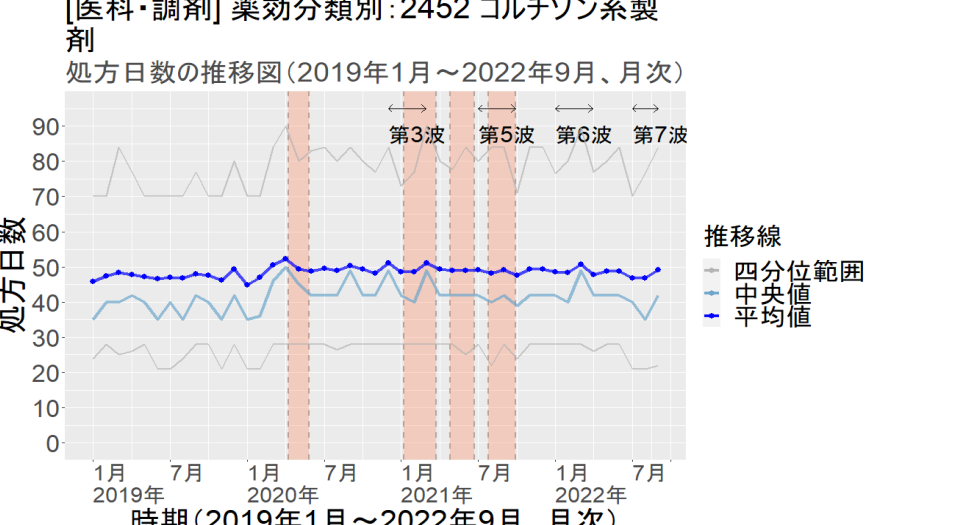
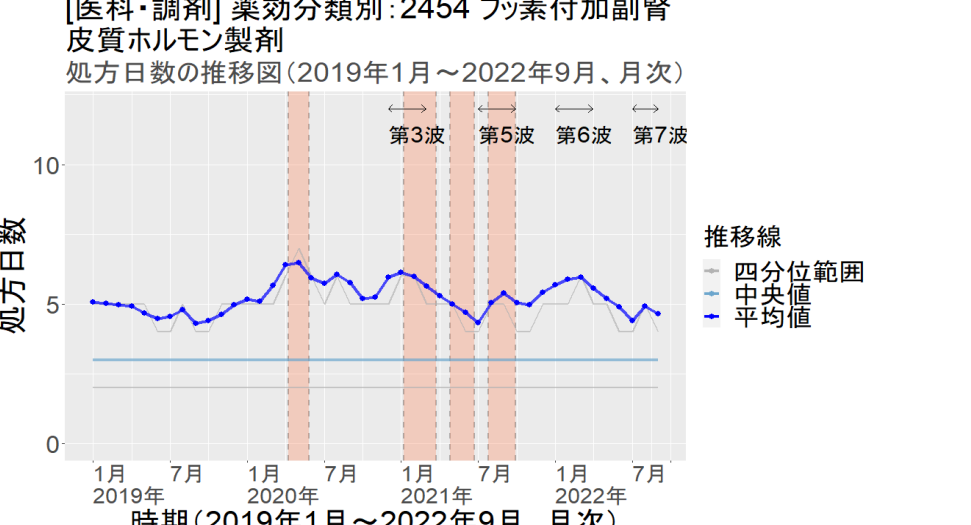
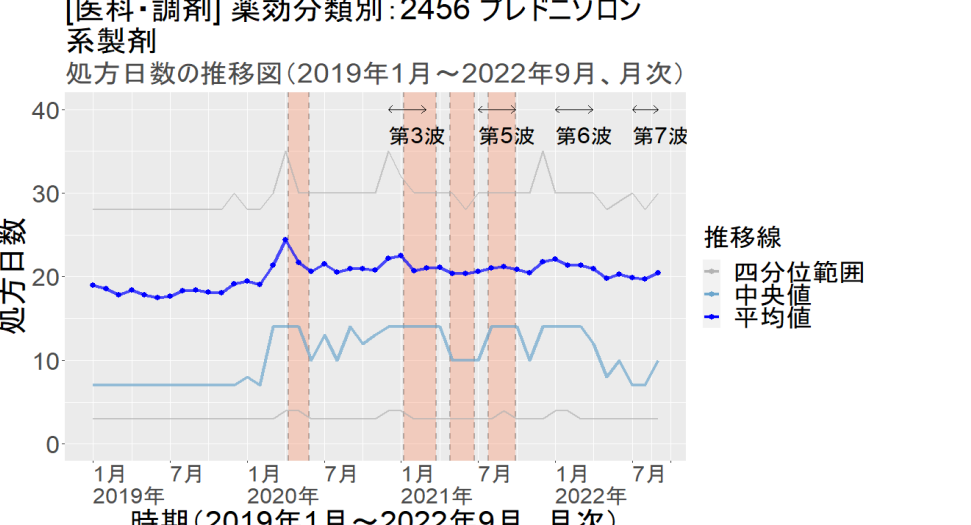
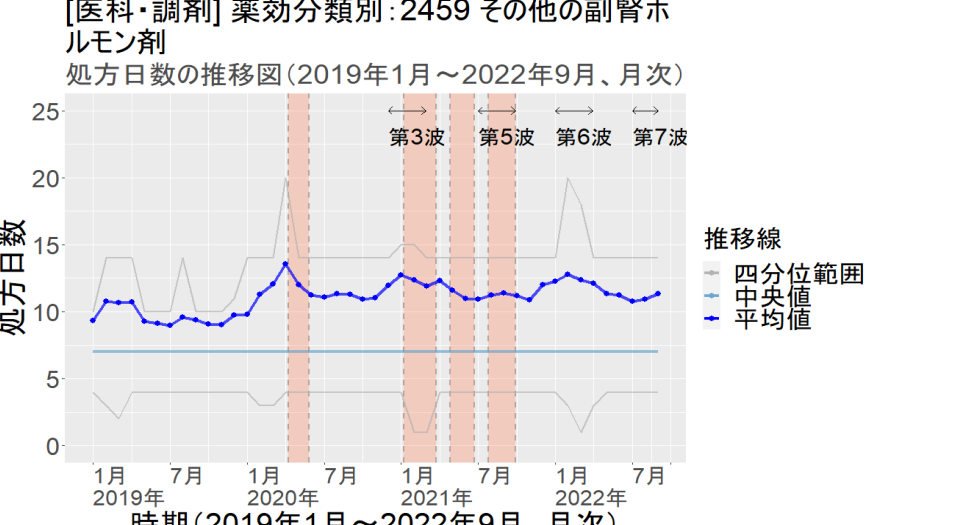
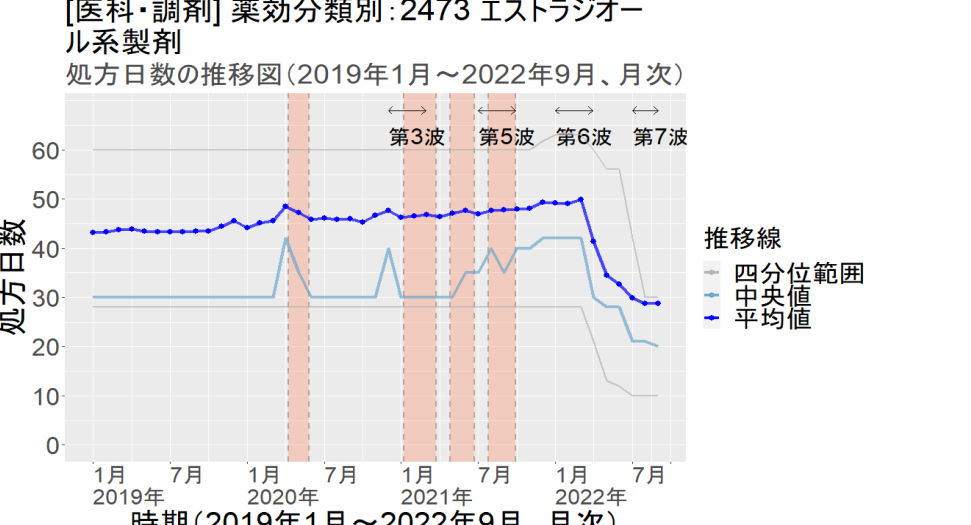
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
86	2391 鎮吐剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2391 鎮吐剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
87	2399 他に分類されない消化器用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2399 他に分類されない消化器用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
88	241 脳下垂体ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 241 脳下垂体ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
89	243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>
90	244 たん白同化ステロイド剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 244 たん白同化ステロイド剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>

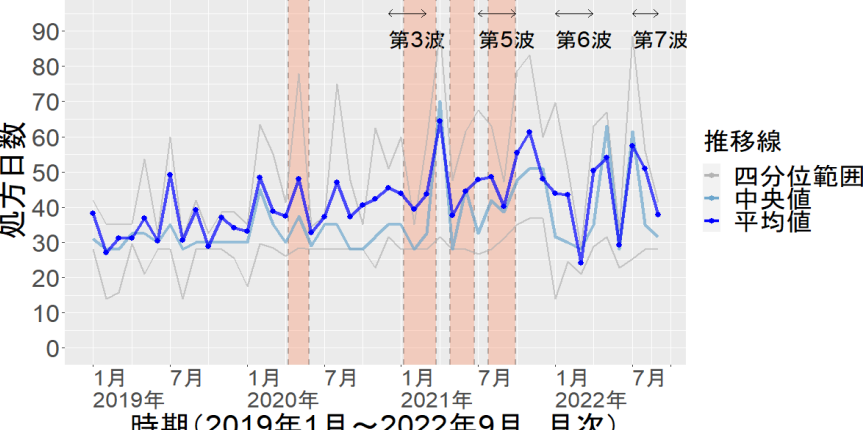
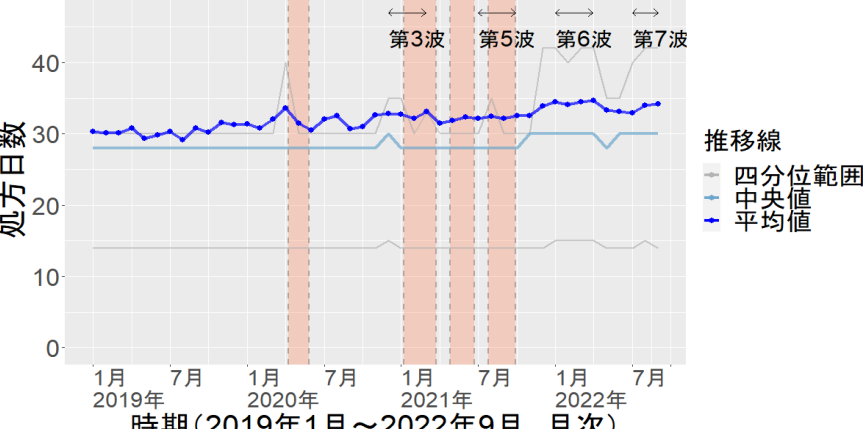
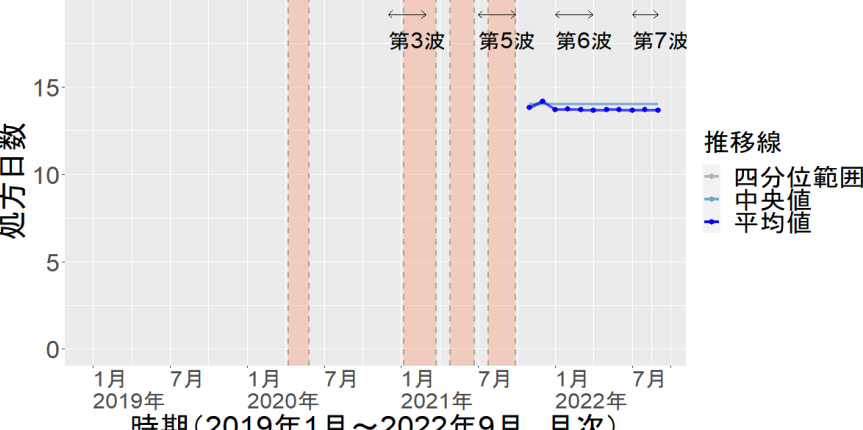
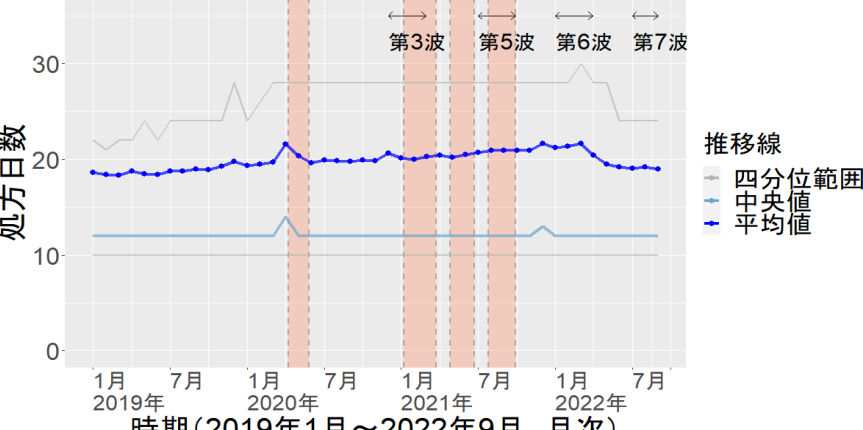
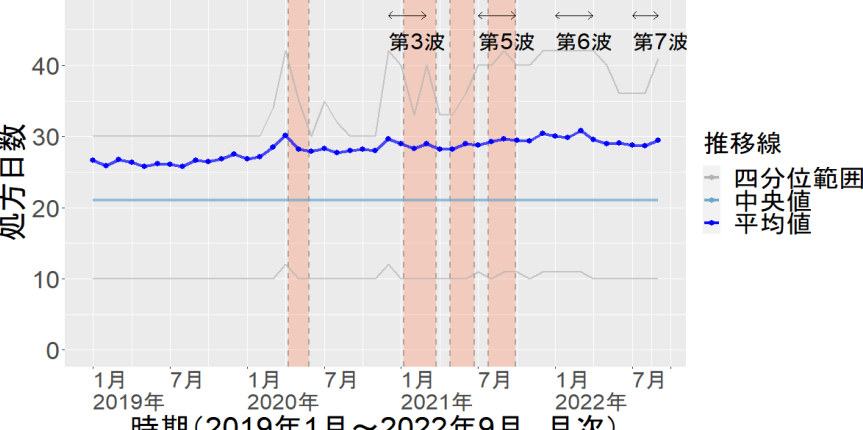
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
91	2452 コルチゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2452 コルチゾン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
92	2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
93	2456 プレドニゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2456 プレドニゾン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
94	2459 その他の副腎ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2459 その他の副腎ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
95	2473 エストラジオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2473 エストラジオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
96	2474 エチニルエストラジオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2474 エチニルエストラジオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
97	2475 エストリオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2475 エストリオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
98	2477 プロゲステロン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2477 プロゲステロン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
99	2478 合成黄体ホルモン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2478 合成黄体ホルモン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
100	2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
101	248 混合ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:248 混合ホルモン剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
102	2491 循環ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2491 循環ホルモン剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
103	2499 他に分類されないホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2499 他に分類されないホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。) 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
104	251 泌尿器用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:251 泌尿器用剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
105	253 子宮収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:253 子宮収縮剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
106	255 痔疾用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:255 痔疾用剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
107	259 その他の泌尿生殖器 及び肛門用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:259 その他の泌尿生殖器 及び肛門用薬 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
108	269 その他の外皮用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:269 その他の外皮用薬 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
109	290 その他の個々の器官系 医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:290 その他の個々の器官系 医薬品 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
110	3111 合成ビタミンA 製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3111 合成ビタミンA 製剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
111	3112 合成ビタミンD製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3112 合成ビタミンD製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
112	3119 その他のビタミンA及びD剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3119 その他のビタミンA及びD剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
113	312 ビタミンB1剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:312 ビタミンB1剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
114	3131 ビタミンB2剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3131 ビタミンB2剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
115	3132 ニコチン酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3132 ニコチン酸系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
116	3133 パントテン酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3133 パントテン酸系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
117	3134 ビタミンB6剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3134 ビタミンB6剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
118	3135 葉酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3135 葉酸製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
119	3136 ビタミンB12剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3136 ビタミンB12剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
120	314 ビタミンC剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:314 ビタミンC剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
121	315 ビタミンE 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:315 ビタミンE 剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線              - 四分位範囲              - 中央値              - 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
122	316 ビタミンK 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:316 ビタミンK 剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線              - 四分位範囲              - 中央値              - 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
123	3179 その他の混合ビタミン 剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3179 その他の混合ビ タミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。) 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線              - 四分位範囲              - 中央値              - 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
124	319 その他のビタミン 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:319 その他のビタミン 剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線              - 四分位範囲              - 中央値              - 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
125	321 カルシウム 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:321 カルシウム 剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線              - 四分位範囲              - 中央値              - 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
126	322 無機質製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 322 無機質製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
127	323 糖類剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 323 糖類剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
128	325 たん白アミノ酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 325 たん白アミノ酸製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
129	327 乳幼児用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 327 乳幼児用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
130	329 その他の滋養強壮薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 329 その他の滋養強壮薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
131	3321 カルバゾクロム系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3321 カルバゾクロム系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
132	3322 ゼラチン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3322 ゼラチン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
133	3323 臓器性止血製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3323 臓器性止血製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
134	3327 抗プラスミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3327 抗プラスミン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
135	3329 その他の止血剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3329 その他の止血剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
136	3332 ジクマロール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3332 ジクマロール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
137	3339 その他の血液凝固阻止剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3339 その他の血液凝固阻止剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
138	339 その他の血液・体液用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 339 その他の血液・体液用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
139	391 肝臓疾患用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 391 肝臓疾患用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
140	392 解毒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 392 解毒剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
141	393 習慣性中毒用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 393 習慣性中毒用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
142	394 痛風治療剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 394 痛風治療剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
143	3961 スルフォニル尿素系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3961 スルフォニル尿素系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
144	3962 ビグアナイド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3962 ビグアナイド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
145	3969 その他の糖尿病用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3969 その他の糖尿病用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
146	3992 アデノシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3992 アデノシン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
147	3999 他に分類されないその 他の代謝性医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3999 他に分類されな いその他の代謝性医薬品 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
148	419 その他の細胞賦活用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:419 その他の細胞賦活 用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
149	421 アルキル化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:421 アルキル化剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
150	422 代謝拮抗剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:422 代謝拮抗剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
151	424 抗腫瘍性植物成分製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:424 抗腫瘍性植物成分製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
152	429 その他の腫瘍用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:429 その他の腫瘍用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
153	430 放射性医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:430 放射性医薬品 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
154	441 抗ヒスタミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:441 抗ヒスタミン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
155	442 刺激療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:442 刺激療法剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
156	449 その他のアレルギー用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 449 その他のアレルギー用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
157	510 生薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 510 生薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
158	520 漢方製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 520 漢方製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
159	590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
160	611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 611 主としてグラム陽性菌に作用するもの 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

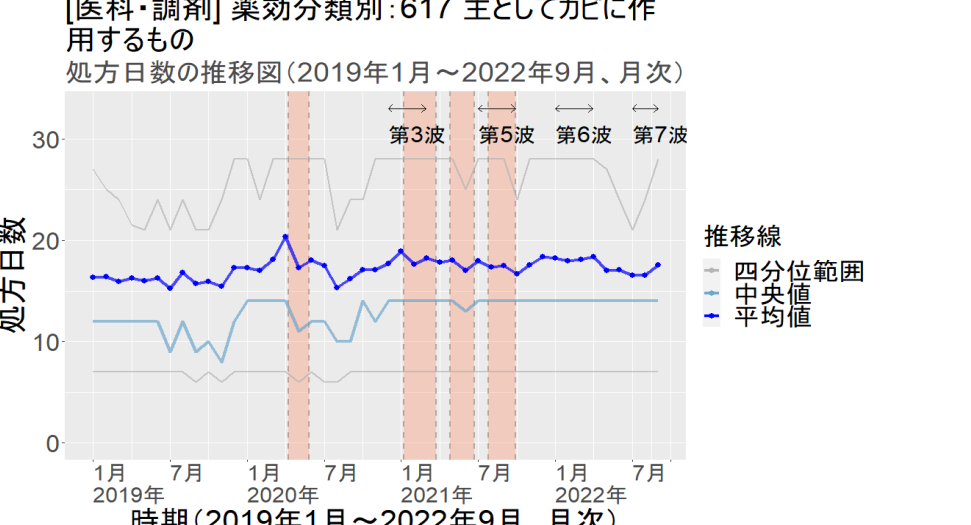
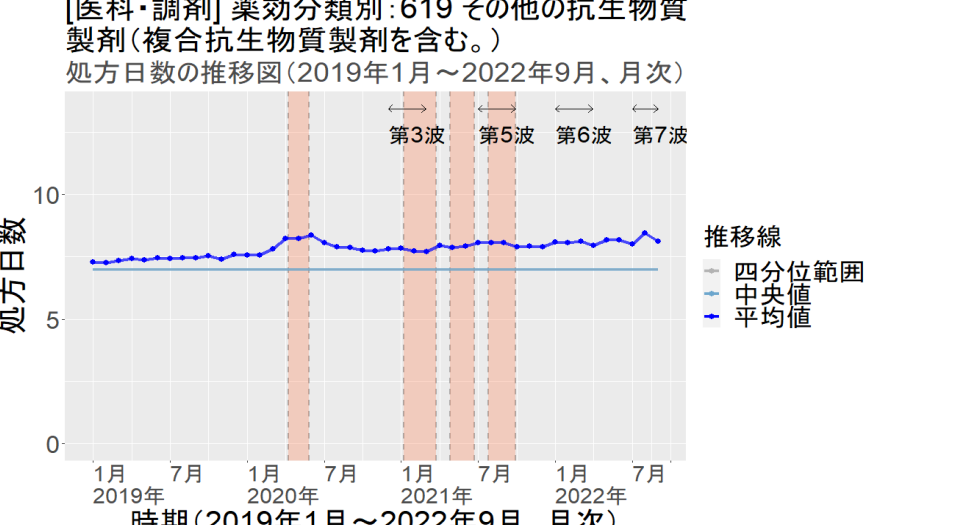
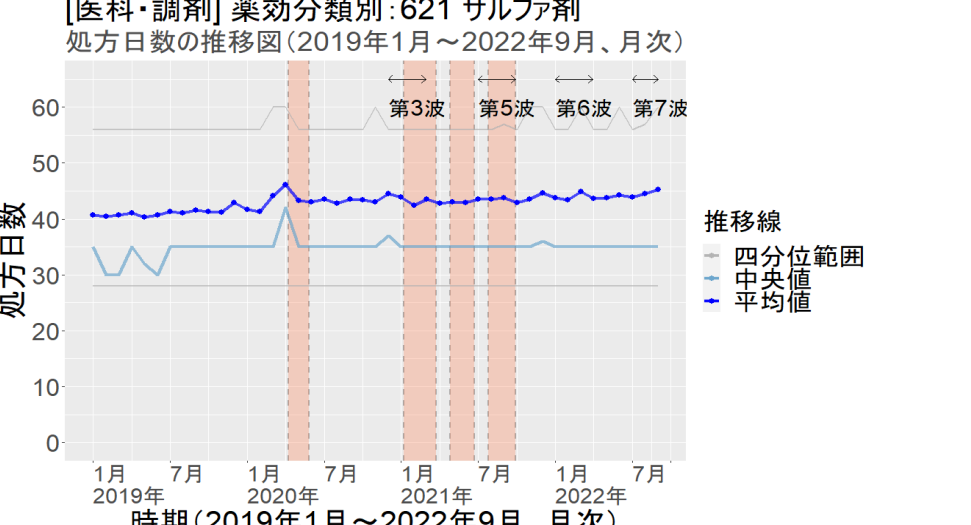
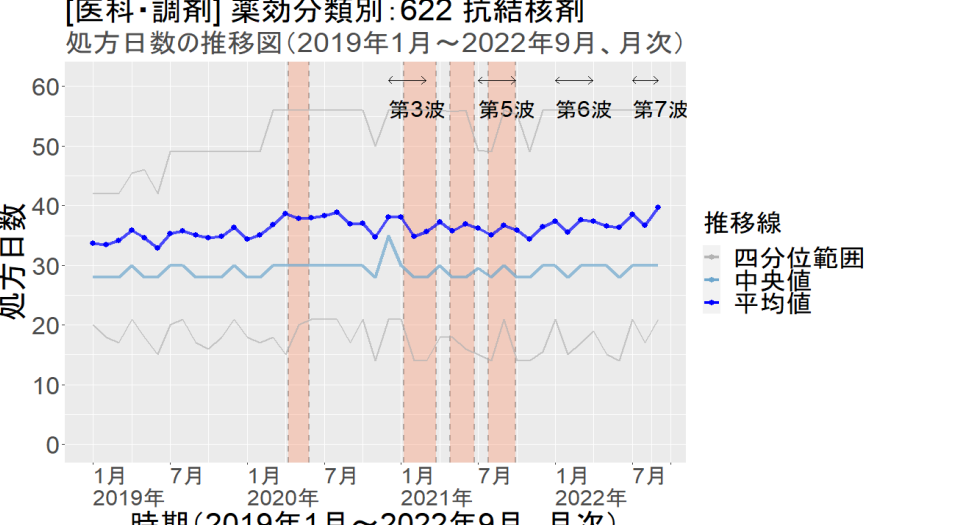
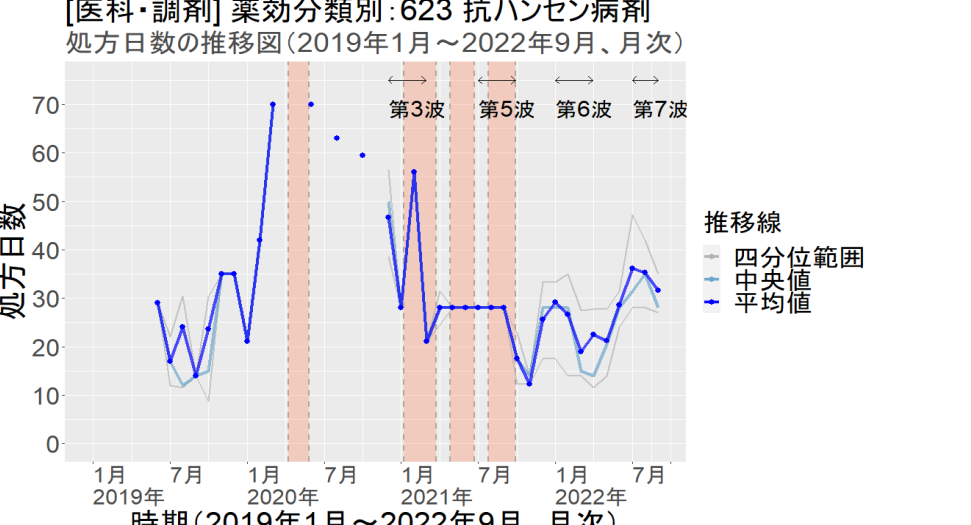
医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
161	612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:612 主としてグラム陰性菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
162	613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
163	614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
164	615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
165	616 主として抗酸菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:616 主として抗酸菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
166	617 主としてカビに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:617 主としてカビに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
167	619 その他の抗生物質製剤 (複合抗生物質製剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:619 その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。) 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
168	621 サルファ剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:621 サルファ剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
169	622 抗結核剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:622 抗結核剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
170	623 抗ハンセン病剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:623 抗ハンセン病剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p>  <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
171	624 合成抗菌剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:624 合成抗菌剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
172	625 抗ウイルス剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:625 抗ウイルス剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
173	629 その他の化学療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:629 その他の化学療法剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
174	641 抗寄生虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:641 抗寄生虫剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
175	642 駆虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:642 駆虫剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数</p> <p>推移線 四分位範囲 中央値 平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

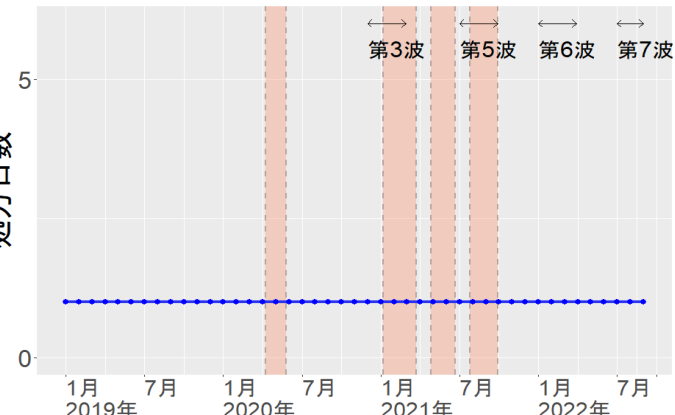
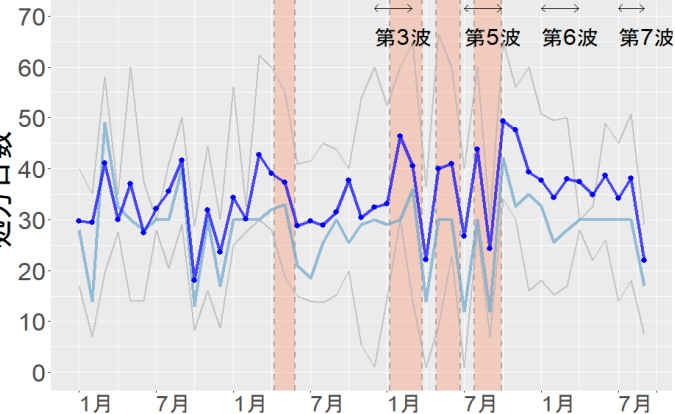
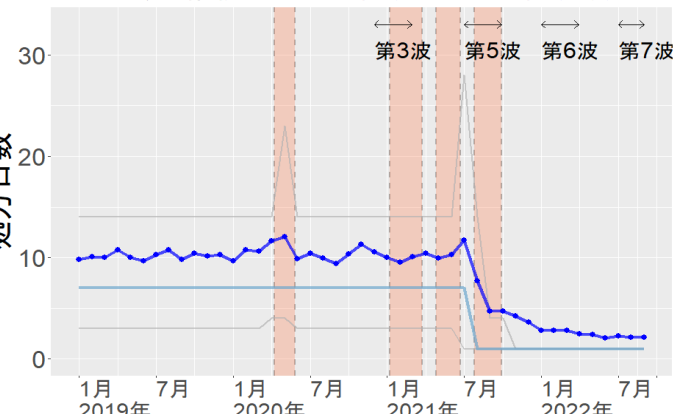
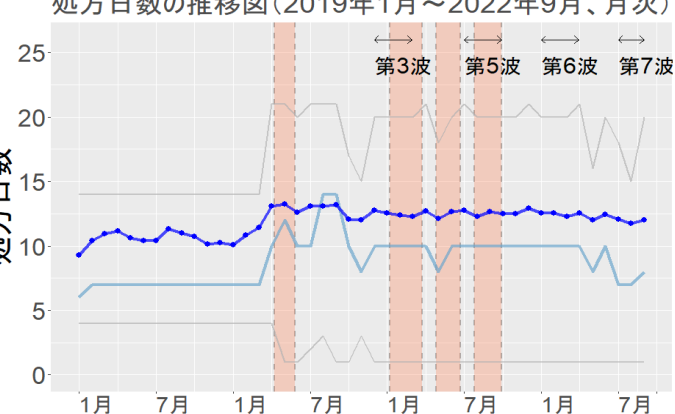
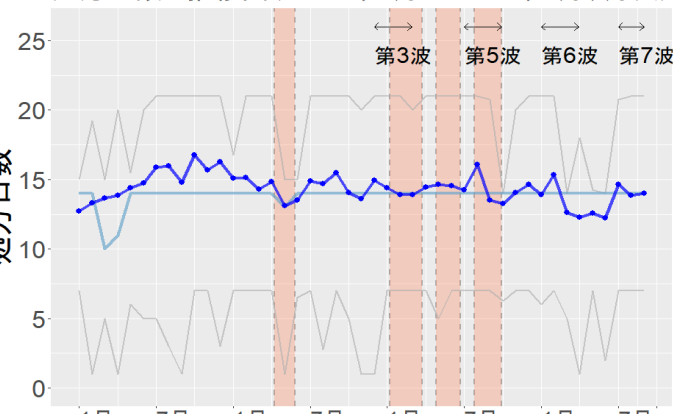
時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
176	711 賦形剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 711 賦形剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
177	713 溶解剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 713 溶解剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
178	714 矯味, 矯臭, 着色剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 714 矯味, 矯臭, 着色剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
179	721 X線造影剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 721 X線造影剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
180	722 機能検査用試薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 722 機能検査用試薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
181	729 その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 729 その他の診断用薬 (体外診断用医薬品を除く。) 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p>  <p>処方日数</p> <p>推移線              四分位範囲              中央値              平均値</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
182	731 防腐剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 731 防腐剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p>  <p>処方日数</p> <p>推移線              四分位範囲              中央値              平均値</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
183	799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p>  <p>処方日数</p> <p>推移線              四分位範囲              中央値              平均値</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
184	811 あへんアルカロイド系麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 811 あへんアルカロイド系麻薬 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p>  <p>処方日数</p> <p>推移線              四分位範囲              中央値              平均値</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
185	821 合成麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 821 合成麻薬 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p>  <p>処方日数</p> <p>推移線              四分位範囲              中央値              平均値</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
1	1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1121 有機ブロム化合物製剤；ブロムワレリル尿素，ブロムカンフル系製剤 処方日数の推移図（2019年1月～2022年9月、月次）</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
2	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1124 ベンゾジアゼピン系製剤 処方日数の推移図（2019年1月～2022年9月、月次）</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
3	1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1125 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤 処方日数の推移図（2019年1月～2022年9月、月次）</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
4	1126 ブロム塩製剤；臭化カリウム等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1126 ブロム塩製剤；臭化カリウム等 処方日数の推移図（2019年1月～2022年9月、月次）</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
5	1129 その他の催眠鎮静剤，抗不安剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：1129 その他の催眠鎮静剤，抗不安剤 処方日数の推移図（2019年1月～2022年9月、月次）</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
6	1131 フェナセミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1131 フェナセミド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
7	1132 ヒダントイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1132 ヒダントイン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
8	1133 オキサゾリジン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1133 オキサゾリジン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
9	1135 プリミドン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1135 プリミドン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
10	1137 スルホンアミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1137 スルホンアミド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
11	1139 その他の抗てんかん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1139 その他の抗てんかん剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
12	1141 アニリン系製剤; メフェナム酸, フルフェナム酸等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1141 アニリン系製剤; メフェナム酸, フルフェナム酸等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
13	1143 サリチル酸系製剤; アスピリン等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1143 サリチル酸系製剤; アスピリン等 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
14	1145 インドメタシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1145 インドメタシン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
15	1147 フェニル酢酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1147 フェニル酢酸系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
16	1148 塩基性消炎鎮痛剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1148 塩基性消炎鎮痛剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
17	1149 その他の解熱鎮痛消炎剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
18	116 抗パーキンソン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 116 抗パーキンソン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
19	1171 クロルプロマジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1171 クロルプロマジン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
20	1172 フェノチアジン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1172 フェノチアジン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
21	1174 イミプラミン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1174 イミプラミン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
22	1179 その他の精神神経用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1179 その他の精神神経用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
23	118 総合感冒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 118 総合感冒剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
24	119 その他の中枢神経系用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 119 その他の中枢神経系用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
25	121 局所麻酔剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 121 局所麻酔剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
26	122 骨格筋弛緩剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 122 骨格筋弛緩剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
27	123 自律神経剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 123 自律神経剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
28	1242 アトロピン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1242 アトロピン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
29	1249 その他の鎮けい剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 1249 その他の鎮けい剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
30	131 眼科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 131 眼科用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
31	132 耳鼻科用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 132 耳鼻科用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
32	133 鎮量剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 133 鎮量剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
33	2113 ジギタリス製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2113 ジギタリス製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
34	2115 カフェイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2115 カフェイン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
35	2119 その他の強心剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2119 その他の強心剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
36	2121 プロカインアミド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2121 プロカインアミド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
37	2122 キニジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2122 キニジン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
38	2123 β-遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2123 β-遮断剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
39	2129 その他の不整脈用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2129 その他の不整脈用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
40	213 利尿剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 213 利尿剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
41	2142 ヒドララジン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2142 ヒドララジン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
42	2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2144 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
43	2145 メチルドパ製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2145 メチルドパ製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
44	2149 その他の血圧降下剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2149 その他の血圧降下剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
45	216 血管収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 216 血管収縮剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
46	217 血管拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:217 血管拡張剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
47	2183 クロフィブラート系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2183 クロフィブラート系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
48	2189 その他の高脂血症用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:2189 その他の高脂血症用剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
49	219 その他の循環器官用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:219 その他の循環器官用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
50	222 鎮咳剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:222 鎮咳剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
51	2231 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2231 植物性製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
52	2233 システイン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2233 システイン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
53	2234 ブロムヘキシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2234 ブロムヘキシン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
54	2239 その他の去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2239 その他の去たん剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
55	2241 植物性製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2241 植物性製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
56	2242 コデイン系製剤 (家庭麻薬)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2242 コデイン系製剤 (家庭麻薬)                      処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線                      病院                      診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
57	2249 その他の鎮咳去たん剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2249 その他の鎮咳去たん剤                      処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線                      病院                      診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
58	2251 キサンチン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2251 キサンチン系製剤                      処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線                      病院                      診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
59	2252 イソプレナリン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2252 イソプレナリン系製剤                      処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線                      病院                      診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
60	2254 サルブタモール製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2254 サルブタモール製剤                      処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線                      病院                      診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
61	2259 その他の気管支拡張剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2259 その他の気管支拡張剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
62	231 止しゃ剤, 整腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 231 止しゃ剤, 整腸剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
63	2321 メチルメチオニン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2321 メチルメチオニン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
64	2322 グルタミン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2322 グルタミン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
65	2323 アズレン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2323 アズレン製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
66	2325 H 2 遮断剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2325 H2遮断剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
67	2329 その他の消化性潰瘍用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2329 その他の消化性潰瘍用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
68	2331 消化酵素製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2331 消化酵素製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
69	2332 酵母製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2332 酵母製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
70	2333 苦味製剤; 苦味チンキ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2333 苦味製剤; 苦味チンキ等 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
71	2335 酸類製剤；クエン酸リ モナーデ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：2335 酸類製剤；クエン酸リモナーデ等 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
72	2339 その他の健胃消化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：2339 その他の健胃消化剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
73	234 制酸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：234 制酸剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
74	2354 植物性製剤；センナ等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：2354 植物性製剤；センナ等 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
75	2355 無機塩製剤；硫酸マグ ネシウム等	<p>[医科・調剤] 薬効分類別：2355 無機塩製剤；硫酸マグネシウム等 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
76	2359 その他の下剤, 浣腸剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2359 その他の下剤, 浣腸剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
77	236 利胆剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 236 利胆剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
78	2391 鎮吐剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2391 鎮吐剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
79	2399 他に分類されない消化器 器官用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2399 他に分類されな い消化器 器官用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
80	241 脳下垂体ホルモ ン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 241 脳下垂体ホルモ ン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
81	243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 243 甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
82	244 たん白同化ステロイド剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 244 たん白同化ステロイド剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
83	2452 コルチゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2452 コルチゾン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
84	2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2454 フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
85	2456 プレドニゾン系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2456 プレドニゾン系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
86	2459 その他の副腎ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2459 その他の副腎ホルモン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
87	2473 エストラジオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2473 エストラジオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
88	2474 エチニルエストラジオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2474 エチニルエストラジオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
89	2475 エストリオール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2475 エストリオール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
90	2478 合成黄体ホルモン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2478 合成黄体ホルモン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
91	2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2479 その他の卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
92	248 混合ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 248 混合ホルモン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
93	2491 循環ホルモン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2491 循環ホルモン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
94	2499 他に分類されないホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 2499 他に分類されないホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む。) 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
95	253 子宮収縮剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 253 子宮収縮剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
96	255 痔疾用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 255 痔疾用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
97	259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 259 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
98	269 その他の外皮用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 269 その他の外皮用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
99	290 その他の個々の器官系医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 290 その他の個々の器官系医薬品 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
100	3111 合成ビタミンA製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3111 合成ビタミンA製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
101	3112 合成ビタミンD製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3112 合成ビタミンD製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
102	3119 その他のビタミンA及びD剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3119 その他のビタミンA及びD剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
103	312 ビタミンB1剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:312 ビタミンB1剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
104	3131 ビタミンB2剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3131 ビタミンB2剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
105	3132 ニコチン酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:3132 ニコチン酸系製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
106	3133 パントテン酸系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3133 パントテン酸系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
107	3134 ビタミンB6剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3134 ビタミンB6剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
108	3135 葉酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3135 葉酸製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
109	3136 ビタミンB12剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3136 ビタミンB12剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
110	314 ビタミンC剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 314 ビタミンC剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
111	315 ビタミンE 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 315 ビタミンE 剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
112	316 ビタミンK 剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 316 ビタミンK 剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
113	3179 その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3179 その他の混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く。) 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
114	319 その他のビタミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 319 その他のビタミン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
115	321 カルシウム剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 321 カルシウム剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
116	322 無機質製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 322 無機質製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
117	323 糖類剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 323 糖類剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
118	325 たん白アミノ酸製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 325 たん白アミノ酸製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
119	327 乳幼児用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 327 乳幼児用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
120	3321 カルバゾクロム系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3321 カルバゾクロム系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
121	3323 臓器性止血剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3323 臓器性止血剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
122	3327 抗プラスミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3327 抗プラスミン剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
123	3329 その他の止血剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3329 その他の止血剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
124	3332 ジクマロール系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3332 ジクマロール系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
125	3339 その他の血液凝固阻止剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3339 その他の血液凝固阻止剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
126	339 その他の血液・体液用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 339 その他の血液・体液用薬 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線  <span style="color: red;">—</span> 病院  <span style="color: blue;">—</span> 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
127	391 肝臓疾患用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 391 肝臓疾患用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線  <span style="color: red;">—</span> 病院  <span style="color: blue;">—</span> 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
128	392 解毒剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 392 解毒剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線  <span style="color: red;">—</span> 病院  <span style="color: blue;">—</span> 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
129	393 習慣性中毒用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 393 習慣性中毒用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線  <span style="color: red;">—</span> 病院  <span style="color: blue;">—</span> 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
130	394 痛風治療剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 394 痛風治療剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線  <span style="color: red;">—</span> 病院  <span style="color: blue;">—</span> 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
131	3961 スルフォニル尿素系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3961 スルフォニル尿素系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
132	3962 ビグアイド系製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3962 ビグアイド系製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
133	3969 その他の糖尿病用剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3969 その他の糖尿病用剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
134	3992 アデノシン製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3992 アデノシン製剤 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
135	3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別: 3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品 処方日数の推移図 (2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
136	419 その他の細胞賦活用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:419 その他の細胞賦活用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
137	421 アルキル化剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:421 アルキル化剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
138	422 代謝拮抗剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:422 代謝拮抗剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
139	429 その他の腫瘍用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:429 その他の腫瘍用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
140	441 抗ヒスタミン剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:441 抗ヒスタミン剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>



時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
141	442 刺激療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:442 刺激療法剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
142	449 その他のアレルギー用薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:449 その他のアレルギー用薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
143	510 生薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:510 生薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
144	520 漢方製剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:520 漢方製剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
145	590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:590 その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 - 病院 - 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
146	611 主としてグラム陽性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:611 主としてグラム陽性菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
147	612 主としてグラム陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:612 主としてグラム陰性菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
148	613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
149	614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:614 主としてグラム陽性菌, マイコプラズマに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
150	615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:615 主としてグラム陽性・陰性菌, リケッチア, クラミジアに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図（2019～2022年、月次）
151	616 主として抗酸菌に作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:616 主として抗酸菌に作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
152	617 主としてカビに作用するもの	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:617 主としてカビに作用するもの 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
153	619 その他の抗生物質製剤 (複合抗生物質製剤を含む。)	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:619 その他の抗生物質製剤 (複合抗生物質製剤を含む。) 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
154	621 サルファ剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:621 サルファ剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>
155	622 抗結核剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:622 抗結核剤 処方日数の推移図(2019年1月～2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月～2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
156	624 合成抗菌剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:624 合成抗菌剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
157	625 抗ウイルス剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:625 抗ウイルス剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
158	629 その他の化学療法剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:629 その他の化学療法剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
159	641 抗寄生虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:641 抗寄生虫剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>
160	642 駆虫剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:642 駆虫剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
161	711 賦形剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:711 賦形剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>
162	713 溶解剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:713 溶解剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>
163	714 矯味, 矯臭, 着色剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:714 矯味, 矯臭, 着色剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>
164	721 X線造影剤	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:721 X線造影剤 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>
165	799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:799 他に分類されない治療を主目的としない医薬品 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>

# 時系列グラフ

医科・調剤 薬効分類別・病院/診療所別 外来 処方日数

No	分類	推移図 (2019~2022年、月次)
166	811 あへんアルカロイド系麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:811 あへんアルカロイド系麻薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>
167	821 合成麻薬	<p>[医科・調剤] 薬効分類別:821 合成麻薬 処方日数の推移図(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>処方日数(日)の平均値</p> <p>時期(2019年1月~2022年9月、月次)</p> <p>推移線 — 病院 — 診療所</p>

# 時系列グラフ

## 歯科 全体・年齢階級別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	全体	<p><b>[歯科] 全体</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 時期(1～12月、月次)</p>	<p><b>[歯科] 全体</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>2020年 1月 6月 2021年 1月 6月 2022年 1月 6月 時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.5 2022年1～9月累積: -2.4 最大減少幅: -22.0</p>
2	0～14歳	<p><b>[歯科] 年齢階級別:0～14歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 時期(1～12月、月次)</p>	<p><b>[歯科] 年齢階級別:0～14歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>2020年 1月 6月 2021年 1月 6月 2022年 1月 6月 時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -4.7 2022年1～9月累積: -3.0 最大減少幅: -31.3</p>
3	15～39歳	<p><b>[歯科] 年齢階級別:15～39歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 時期(1～12月、月次)</p>	<p><b>[歯科] 年齢階級別:15～39歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>2020年 1月 6月 2021年 1月 6月 2022年 1月 6月 時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.9 2022年1～9月累積: -1.4 最大減少幅: -13.9</p>
4	40～64歳	<p><b>[歯科] 年齢階級別:40～64歳</b> 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 時期(1～12月、月次)</p>	<p><b>[歯科] 年齢階級別:40～64歳</b> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>2020年 1月 6月 2021年 1月 6月 2022年 1月 6月 時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -2.5 2022年1～9月累積: -3.6 最大減少幅: -24.1</p>